使用の手びき

刺しゅう機

chou chou DX 型式: EU-5



SINGER[°]

この刺しゅう機を安全にお使いいただくため この「使用の手びき」をご使用の前に必ずお 読みください。 「使用の手びき」は、手元に保管し、末長く ご活用ください。 このたびは、シンガー刺しゅう機 EU-5 をお買い上げいただき、ありがとうございます。 この刺しゅう機は、対応するシンガーミシンに取り付けて、美しい模様刺しゅう、文字刺しゅ うを楽しむことのできる刺しゅう専用アタッチメントです。

ご注意

- 刺しゅう機 EU-5 対応のシンガーミシンにのみ使用できます。他の機種では使用できま せんので、ご購入の際に販売店でご確認ください。
- この刺しゅう機は、家庭用です。業務用には一切使用できません。

安全にご使用いただくために

この刺しゅう機を安全にご使用していただくために、以下のことがらを必ず守ってください。

この刺しゅう機は、日本国内向け、家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

🏠 警告 感電、火災の恐れがあります。

1. この刺しゅう機に対応したミシンに正しく取り付けてください。

2. ミシンの操作は、そのミシンの使用の手びきに従って安全に行ってください。

▲ 注意 感電、火災、けがなどの原因となります。

- 1. お客さま自身での分解、改造はしないでください。
- 2. 刺しゅう機の操作中は、キャリッジ、刺しゅう枠などすべての動いている部分に手を近づけないでください。
- 3. お子様がご使用になるときや、お子様の近くで使用されるときは、特に安全に注意して ください。
- 4. 刺しゅう機に以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、ご購入店、または別掲の「お客様相談係」にご連絡の上、点検、修理、調整をお受けください。
 - ・正常に作動しないとき。 ・ 落下などにより破損したとき。
 - ・水に濡れたとき。
 ・接続コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
 - ・異常な臭い、音がするとき。 ・中に異物が入ったとき。
- 5. 安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。
- 6. スキマに異物を入れたり、ドライバーを差し込んだりしないでください。
- 7 刺しゅう機を取り付けたまま、ミシンを持ち運ばないでください。
- 8. 直射日光に当てたり、高温多湿のところには置かないでください。
- 9. 袋類は、お子様がかぶらないように、お子様の手の届かないところに保管するか、廃棄 してください。

目次

| 安全にご使用いただくために | 表紙裏 |
|--------------------------|----------|
| この刺しゅう機の特長 | 1 |
| 各部のなまえ | 2 |
| 刺しゅう押えの取り付け | |
| ブリッジの取り付け | |
| 刺しゅう機の取り付け | 4 |
| 操作ボックスの角度調節 | 6 |
| 刺しゅう機の取り外し | 6 |
| 刺しゅう機の設定(タイトル画面) | 7 |
| 刺しゅう枠の取り付け | 9 |
| 布. 糸. 針の進備 | 9 |
| 刺しゅう枠の種類 | 9 |
| 布の取り付け方 | |
| テンプレートの使い方 | |
| 刺しゅう枠の取り付け方 | |
| 刺しゅう枠の取り外し方 | 11 |
| 模様の選び方 | |
| 模様の設定 | 13 |
| A. 刺しゅう枠のサイズ | 13 |
| B. 刺しゅうイメージ | 13 |
| C. 柄切替ボタン | 13 |
| D. 柄保存・消去ボタン | 13 |
| E. 柄追加ボタン | |
| F. 編集ホタン | |
| G. 伴選択・拡大ホタン 記字が終わったら | 15 1E |
| 武圧/)終わうたら、 | 10 |
| 人子の迭し刀 | |
| カタカナの選び方 | 10 |
| - ブタバアの医し / 漢字の遅び方 | 10 |
| アルファベット/数字、記号の選び方 | 17 |
| | 18 |
| 文字の追加 | |
| 文字の削除 | |
| 文字の保存 | 18 |
| | |

| 文字の設定 | 20 |
|-------------------------|-----|
| A. 編集ボタン | .20 |
| B. 文字の色替えボタン | .22 |
| 設定が終わったら、 | .23 |
| メッセージー覧 | 24 |
| 模様一覧(ワンポイント) | 25 |
| 模様一覧(セレクション) | 28 |
| 模様一覧(キルト) | 28 |
| 模様一覧(ヨーロピアン1) | 30 |
| 模様一覧(ヨーロピアン 2) | 33 |
| 模様一覧(ヨーロピアン3) | 36 |
| 文字一覧 | 38 |
| 追加模様、ソフトウェアのご案内 | 53 |
| 刺しゅうのぬい方 | 54 |
| 設定が終わったら (ぬい始める前に) | .54 |
| ぬい画面に表示される情報 | .56 |
| 文字をつないでぬう | 57 |
| USB メモリに刺しゅうデータを保存する | 58 |
| USB メモリから刺しゅうデータを読み込む | 59 |
| こんなときには、 | 60 |
| 小さい布や布端にぬうには | .60 |
| ぬいの途中で糸が切れたり、なくなったら… | .60 |
| 停電で止まったら(バックアップ機能) | .60 |
| 糸調子について | 62 |
| A 正しい糸調子 | .62 |
| B 上糸調子が強りさるとさ | .62 |
| し 上 糸 調 ナ か 羽 9 さ る と さ | .02 |
| 料しゆう彼の11なやりまた | 02 |
| の向い合わせまたはこ相談先 | 60 |
| | 03 |
| 修理サービス安禎 | 04 |
| 保祉書 | え紕 |

この刺しゅう機の特長 ____

刺しゅう機に対応したミシンに取り付けるだけで、美しい刺しゅうぬいを楽しむことができます。

ワンポイントやキルトなど 298 種類の多彩な模様を内蔵していますので、用途やお好みに 合わせて刺しゅうをすることができます。また、その他に弊社ホームページには、ダウンロー ドして使える模様をご用意しています。

さらに、ひらがな、カタカナ、アルファベット/数字、記号に加え、名前によく使われる 漢字を組み合わせて、文字刺しゅうをすることができます。

操作は、タッチパネル液晶に表示されるボタンにタッチするだけで、さまざまな設定を行 うことができます。

この使用の手びきと、お使いになるミシンの使用の手びきをお読みになり、正しくお使い ください。

各部のなまえ

- 刺しゅう機本体
- 1. キャリッジ
- 2. 刺しゅう枠ホルダー
- 3. 操作ボックス
- 4. 操作ボックススライド レバー
- 5. 接続コード
- 6. 調整ネジ脚(2本)
- 7. 取り外しレバー
- 8. USB メモリ接続ロ

操作ボックス内

9. タッチパネル液晶 10. OK ボタン 11. 削除ボタン(★) 12. 戻るボタン(**→**)

付属品

13. 刺しゅう押え
 14. USB メモリ(4GB)
 15. ブリッジ(A)(B)
 16. 刺しゅう枠(大)
 17. 刺しゅうテンプレート(大)

オプション (別売り品) 18. 刺しゅう枠(中) 19. 刺しゅうテンプレート(中)

- 20. 刺しゅう枠(小)
- 21. 刺しゅうテンプレート (小)
- 別売り品のお求めは、刺しゅう機をお買い上げの販売店にご相談ください。
- 刺しゅう枠と刺しゅうテンプレートは、 必ず「シンガー純正の専用品」をお使い ください。









注意:

タッチパネル液晶は指で操作してください。 強く押したり、先のとがったもので押したりすると、液晶が損傷する可能性があります。

刺しゅう押えの取り付け

お使いのミシンに刺しゅう押えを取り付けます。

注意:ケガ防止のために 押えを取りかえるときは、必ず、ミシンの 電源スイッチを切ってから行ってください。

- 1. ミシンの電源スイッチを切ります。
- 2. ハズミ車を手前に回して、針を一番上に 上げます。
- 3. 押え上げレバーを上げます。
- 4. 押えホルダー止ネジを外し、押えと押え ホルダーを取り外します。
 (取り外し方は、ミシンの使用の手びきを ご覧ください。)
- 7. 押え上げレバーを少し持ち上げながら、 針止めの軸に刺しゅう押えのアームが後 ろから乗るようにして、刺しゅう押えを 押え棒に取り付けます。
- 7. 押えホルダー止ネジを取り付け、しっかり締めます。

ブリッジの取り付け

刺しゅう機がミシンに、より安定して取り付けられるようにブリッジを取り付けます。 取り付けるブリッジは、ミシンのフリーアー ムの形状によって異なります。 お使いのミシンの補助テーブルを取り外しま す。 ミシンを正面から見て、フリーアームの形が (A)タイプの場合は、ブリッジ A(36060) (B)タイプの場合は、ブリッジ B(36061) (ブリッジに番号が刻印されています) の2つのフックを刺しゅう機の取り付け穴 に差し込みます。 (C)(D)タイプの場合は、ブリッジを取り 付ける必要はありません。



刺しゅう機の取り付け、

🚺 注意:ケガ防止のために

1. 刺しゅう機をミシンに取り付けるときは、必ず電源スイッチを切ってください。
 2. 刺しゅう機を取り付けたままでは、ミシンを持ち歩かないでください。

刺しゅう機が外れて、落ちる恐れがあります。

- 1. ミシンの電源スイッチを切ります。
- 2. ミシンの補助テーブルを取り外します。
- ドロップフィードレバーを左にして、送り 歯を下げます。
- * 送り歯を下げないと、送り歯が布や糸にぶつかり、き れいにぬえません。
- 刺しゅう機をミシンの左側から右にスライ ドさせ、カチッと音がするまで差し込みま す。
- 5. 調整ネジ脚(2本)を回して、刺しゅう機 が安定するように高さを調整してください。
- * ミシンや刺しゅう機が不安定だと、きれいに刺しゅう できないことがあります。
- 6. 接続コードのプラグを、コードが下にくる ようにして、ミシンの刺しゅう機接続口に 差し込みます。(刺しゅう機接続口はミシ ンの右側にあります。)
- 操作ボックススライドレバーを右に押しな がら、操作ボックスが止まるところまで右 にスライドさせます。
- ミシンの電源スイッチを入れます。
 ⇒刺しゅう機のタッチパネル液晶が、起動 画面を数秒表示した後、「送り歯は下げま したか?」というメッセージを表示します。 (次ページ図 10)

お知らせ

もし、何も表示されなかったり、図9のような画面が現れ たら、電源スイッチを切り、コードが正しく接続されてい るか確認してください。

また、画面が見づらいときは、操作ポックスの角度を調節 したり(6ページ参照)、画面の濃さを調整してください(7 ページ参照)。



10. 送り歯は、項目3で下げていますので、「は

い」をタッチします。

もし、下げていないときは「いいえ」をタッチします。画 面 10-a が現れますので、電源スイッチを切り、刺しゅう 機を取り外します。(取り外し方は、次ページ参照) ドロッ プフィードレバーを左にして、送り歯を下げ、刺しゅう機 を再度取り付けます。

「はい」をタッチすると、

⇒画面に図 11 または、図 12 が現れます。 ● 図 11 が現れた場合、このミシンは、ダイ ヤル式糸調子です。糸調子ダイヤルに刺 しゅうの糸調子範囲を赤い線で表示してあ りますので、赤の●印に合わせ、「OK」を タッチしてください。

⇒図12の画面になります。

● 図 11 が現れずに図 12 が現れた場合、このミシンは、コンピュータ式糸調子です。 ミシンが自動で最適な糸調子に調節します。 手動で糸調子を変えることもできます。ミシンの使用の手びきをご覧ください。

糸調子は、お使いになる糸や布地によっ て変わってきます。62 ページ「糸調子に ついて」をご覧ください。

12. キャリッジの回りに手やものがないこと
 を確認して、「はい」をタッチします。
 ⇒キャリッジが動いて刺しゅう開始位置で
 止まり、タイトル画面が現れます。

● 違う画面が現れた場合は、次のようにしま す。

12-a の場合: 糸巻き軸が右に押されています。左に戻 して「OK」 ボタンをタッチしてください。

12-b の場合:フットコントローラーが接続されていま す。この刺しゅう機では、フットコントローラーは使 えませんので、ミシンから外し、「OK」ポタンをタッ チしてください。

12-c の場合:押えが下がっています。押え上げレバー を上げ、「OK」ボタンをタッチしてください。



12-d の場合:針が下がっています。針上下ボタンで針を上げ、「OK」ボタンをタッチしてください。

* キャリッジが動くためには、押えや針が上がっていなくてはなりません。

注意

キャリッジは、無理に動かしたり、キャリッジを持ってミシンを移動したりしないでくだ さい。故障の原因となります。

●操作ボックスの角度調節

操作ボックスの底部を引いて画面が見やすい 角度に調節してください。

収納するときは、ボックス下部を押し、閉じ てください。

注意

操作ボックスは、あまり強く動かさないでく ださい。故障の原因となります。

刺しゅう機の取り外し、

- 1. 刺しゅう枠が取り付けてある場合は、取 り外します。(11ページ参照)
- 2. タイトル画面のキャリッジ移動ボタン

 (A)をタッチします。
 ⇒図3の画面が現れます。
 タイトル画面でないときは、「」」を長めにタッチします。⇒タイトル画面に戻ります。
- キャリッジの回りに何もないことを確認 してから、「はい」をタッチします。
 ⇒キャリッジが収納位置に移動します。 (収納位置に移動しないと、梱包スチロールに入りま せん。)
- 4. ミシンの電源スイッチを切ります。
- 5. 接続コードのプラグを抜きます。
- 6. 操作ボックスを閉じ、左端に寄せます。
- 刺しゅう機の下部にある取り外しレバー を引きながら、刺しゅう機を左にすべら せ、取り外します。
- 8. 刺しゅう機の格納穴にプラグを差し込み ます。
- ミシンのドロップフィードレバーを右に して、送り歯を上げます。補助テーブル を取り付けます。





刺しゅう機の設定

(タイトル画面)

刺しゅう機の取り付けが正しく行われると、 タイトル画面が表示されます。



A. 編集柄表示欄

刺しゅうの模様や文字のことを柄といいます。この刺しゅう機は、柄を同時に3つまで 選択できます。タイトル画面の左上には、柄が選ばれていることを示す3つの入力欄が 現れます。電源を入れた時は、3つとも空欄で、1つ目の空欄には下線が表示されます。 下線はその欄の柄を編集中であることを示しています。模様や文字を入力すると、その 欄には入力済みであることを示す黒いマークが表示されます。詳しくは 13 ページの「模 様の設定しを参照してください。

B. 模様選択ボタン

298 種類の中から模様を選択することができます。模様の選び方は 12 ページの「模様 の選び方 | を参照してください。

C. 文字選択ボタン

このボタンから、ひらがな、カタカナ、アルファベット/数字、漢字、記号を選んで組 み合わせることができます。16ページの「文字の選び方」を参照してください。

D. キャリッジ移動ボタン

刺しゅうが終わったら、このボタンをタッチして、キャリッジを収納位置に移動します。 もう一度タッチすると、刺しゅう開始位置に戻ります。6ページの「刺しゅう機の取り 外し を参照してください。

状態によってボタンの絵が変わります。 開始位置に移動

E.設定ボタン

このボタンをタッチすると刺しゅう機の 設定画面が現れます。 設定画面では、以下の設定ができます。

e-i. 操作音設定

操作ボタンをタッチしたときの音を入切することができます。 「ON」をタッチすると音がします。「OFF」をタッチすると音がしません。

安全のため、誤った操作をしたときの警告音は、「OFF」にしても消せません。

選択されているほうのボタンが白黒反転表示されます。

e-ii 画面の濃度調整

画面の濃度を変えることができます。「+」で濃く、「-」で薄くなります。 自動設定値は白黒反転表示されます。



7

e-iii. タッチパネルの補正

見る角度や指の位置によっては、表示されるボタンをタッチしても、反応しなかったり、違うボタンが反応してしまったりすることがあります。そのようなときには、タッチパネルの補正をしてください。タッチパネルの補正ボタンをタッチして、その後、画面に2回表示される+マークの上をそれぞれタッチして調整ください。

e-iv. ステッチクリーニング

選んだ模様や文字の大きさや、ご使用に なる布地や糸の太さによっては、ぬい密 度(1 針ごとの移動距離)が細かすぎて、 糸が絡んだり、切れたりすることがあり ます。

ステッチクリーニングは、1 針ごとの移 動距離が設定値より細かい場合に、自動 的に設定値以上に調整する機能です。

画面右下の「-」「+」の間にあるボタン

E ()》(OFF) ON 0.0-0.8mm OK 0.4mm (e-iii (e-iii 0K 0K これから画面に表示 ÷ される[+]をタッチして \ **≁**× ください。 € 0K OK タッチバネルの補正 +X **≁**× が完了しました。 (e-iv)



でこの機能の入切ができます。白黒反転している状態が機能入りの状態です。

設定値は左右の「-」「+」で調整します。

0.0-0.8mmの間で調整ができ、設定値は2段目に表示されます。初期設定値は、0.4mmです。

それぞれの設定が終わったら「OK」ボタンをタッチしてください。 ⇒設定が保存され、タイトル画面に戻ります。

F. 削除ボタン

このボタンは入力した柄があるときにだけ現れます。このボタンをタッチすると、入力した柄がすべて消去されます。

G. USB ボタン

編集した柄や、インターネットからの柄 を USB メモリに保存することができます。 (53、58 ページ参照) 読み込むときには、このボタンにタッチ します。(59 ページ参照)



H. バックアップボタン

停電などで刺しゅうの途中に電源が切れてしまった場合に復帰するために使います。(61 ページ参照)通常、このボタンは、表示されません。

刺しゅう枠の取り付け _

●布、糸、針の準備

- 【布地】薄地や伸縮地などぬいにくい布地には、きれいに仕上げるために布の裏面に接着芯を貼るか、不織布を布の裏に重ねてください。 ぬい目の細かい模様を複数の色糸で刺しゅうすると、布が糸にひっぱられて縮み、 次の色をぬったときにずれてしまう場合があります。
- 【糸】下記の糸のご使用をおすすめします。
 - 上糸: ミシン刺しゅう糸 #50
 スパン糸 #60
 下糸: スパン糸 #90(白)

模様は、上糸を色ごとに替えてぬいます。 模様に合わせた色の糸をご用意ください。 模様の色は、模様一覧(25 ページ)をご覧 ください。



模様をぬうときに糸の色が表示されます。 (54 ページ参照)

【針】家庭用ミシン針(HA × 1)11番

市販の刺しゅう用の家庭用ミシン針(HA × 1EB)をお使いいただくと、きれいに仕上が る場合があります。

●刺しゅう枠の種類

刺しゅう枠には、大、中、小の3種類があ ります。ぬう布地や刺しゅうの大きさによっ て使い分けます。

【大】(付属しています)

刺しゅう範囲 たて 20 cm ×よこ 13 cm 全ての模様ぬいや、文字ぬいに

【中】(別売り品)

刺しゅう範囲 たて 10 cm ×よこ 10 cm 【小】 (別売り品)

刺しゅう範囲 たて 4 cm ×よこ 5 cm ワンポイント模様やイニシャル文字ぬいに

└ 注意:ケガ防止のために

模様や、文字を選ぶときに刺しゅう枠の設定をする画面が あります。 必ず、お使いになる刺しゅう枠と同じ枠を設定してくださ

い。異なる刺しゅう枠を設定すると、針や押えが枠にぶつ かり、故障やケガの原因となります。

12ページの「模様の選び方」を参照してください。





●布の取り付け方

- 1. 外枠の調整ネジをゆるめ、内枠を取り外 します。
- 2. 外枠を平らな台の上に置きます。
- 3. 布を外枠の上に乗せます。
- 内枠と外枠の「I」マークを合わせ、内枠 と外枠の高さがそろうように、内枠を布 の上からはめ込みます。

注意

内枠が高いと、ぬっているときにミシンの針 止めネジが枠に当たることがあります。

- 5. 調整ネジを軽く締め、枠内の布地のたる みを引っ張って直します。
- 6. 調整ネジをしっかりと締めます。

●テンプレートの使い方

テンプレートを使うと正確な位置に刺しゅう をぬうことができます。

- 布のぬいたい位置にチャコペン(市販品) で印をつけます。 模様をぬうとき:模様の中心線 よこ書き文字:左右の中心線と文字の下端の線 たて書き文字:上下の中心線と文字の中心線
- テンプレート右側と下にある▲マークが、 内枠の右側と下にある▲マークに合うようにしてのせます。
- 3. テンプレートをのせた内枠を、テンプレー トのガイドラインと布地の印が合うよう に布の上にのせます。
- 布地と内枠がずれないようにして、外枠の中にはさみ込みます。
- 5. 調整ネジを軽く締め、枠内の布地のたる みを引っ張って直します。
- 6. 調整ネジを締め、テンプレートを取り外 します。

お知らせ

ぬい位置は、移動ボタンを使って移動することもできま す。(14、20ページ参照)





●刺しゅう枠の取り付け方

- 取り付ける前に、ミシンの下糸(ボビン糸) が十分あることを確認してください。
 下糸は、使用するミシンの使用の手びき に従って正しく取り付けてください。
- 2. 針と押えを上げます。
- 3. 枠の「I」マークを上にして、押えの下を くぐらせます。
- 朝しゅう枠ホルダーの2つのピンを刺しゅう枠の穴に合わせてしっかりと差し込みます。



●刺しゅう枠の取り外し方

刺しゅう枠の解除レバーを下に押しながら、 刺しゅう枠を右に引きます。





(6)

(8)

(10)

大きい模様を選んだあとに小さい模様を選んだ場合など、模様の選び方によっては、最小の刺しゅう枠が選ばれな いことがあります。その際は、手動で刺しゅう枠を選択し直してください。また、模様より小さい枠は選べません。

🖊 注意:ケガ防止のために

必ず、お使いになる刺しゅう枠と同じになるよう設定してください。異なる刺しゅう枠を 設定すると、針や押えが枠にぶつかり、ケガや故障の原因となります。

8.「OK」をタッチします。⇒色替え停止位置の設定画面が表示されます。

- 9. 上糸を違う色に替えるときの、刺しゅう枠の停止位置を設定できます。変えたい位置の ボタンをタッチします。⇒選ばれた位置のボタンが反転します。
- 10. 「OK」ボタンをタッチします。⇒ 設定画面が表示されます。次ページを参照してください。

模様の設定

模様が選ばれると設定画面が表示されます。 ここでは、模様のさまざまな設定ができます。

A.刺しゅう枠のサイズ

選択した刺しゅう枠のサイズが表示されま す。刺しゅう枠のサイズは、枠選択・拡大 ボタン (G) で変更できます。

B. 刺しゅうイメージ

刺しゅう枠と模様のイメージが表示されま す。イメージは、設定したすべての内容が 反映されます。

C.柄切替ボタン

刺しゅうの模様や文字のことを柄といい、 3 つまで柄を入力することができます。 (B)の刺しゅうイメージにそれぞれの柄は 表示され、別々に編集したり、ぬうことが できます。

編集したい柄やぬいたい柄はこのボタンで 切り替わり、四角い枠で囲まれた柄が選ば れていることを示しています。ボタンを押 すごとに違う柄が選ばれます。

柄が1つだけの場合は、切り替える必要がないので、 このボタンにタッチしてもピピピとエラー音が鳴りま す。

D. 柄保存・柄消去ボタン

このボタンをタッチすると、2つのボタン が現れます。

USB 保存ボタン

すべての柄の設定内容をひとつの柄として、 USB メモリに保存できます。58 ページを 参照してください。

選択柄消去ボタン

このボタンをタッチすると、選択中の柄を 消去します。

E. 柄追加ボタン

このボタンをタッチすると、タイトル画面 に切り替わります。 入力欄に下線のついた欄に柄を追加するこ とができます。

追加しない場合は「OK」ボタンで設定画面に戻ります。







F. 編集ボタン

このボタンをタッチすると3つのボタン が現れ、選択中の柄を編集します。 (編集画面)

i. サイズ変更ボタン

サイズ変更画面が表示されます。 「+」、「-」ボタンで柄のサイズを変更し ます。拡大、縮小ともに、5%刻みで最大 20%まで変更できます。(80~120%) 「OK」または「**」**」をタッチすると、編 集画面に戻ります。

ii. 回転ボタン

回転画面が表示されます。それぞれの回転ボタンをタッチするごとに、柄が矢印方向に1°、5°、90°回転します。「RST」をタッチすると0°に戻ります。 「OK」または「コ」をタッチすると、編集画面に戻ります。

iii.移動・反転ボタン

移動・反転画面が現れます。 4 つの移動ボタンでぬい位置を上下左右 に変更できます。(a-d) 長くタッチし続けると、大きく移動します。 移動量は、ボタン(e)で変えることがで きます。ボタンの中の線が多いほど移動 量が増えます。

注意:

柄を選択すると、刺しゅう枠の中央に配 置されます。柄を複数選ぶ場合、柄同士 が重ならないよう、ぬい位置を移動させ て調整してください。

左右反転ボタン(f)を押すと、柄の向きが反転します。 上下反転ボタン(g)を押すと、柄の向きが逆さになります。 反転の変更に合わせて、「P」マークも反転表示されます。

ぬい範囲の確認

移動・反転画面で、「P」マークボタンをタッチすると、刺しゅう枠が動いてぬい範囲を 確認することができます。

「OK」または「⇒」をタッチすると、編集画面に戻ります。 設定内容が変わると、編集画面のボタンに*マークがつきます。



3x20cm

12

(F) 編集画面

柄切替柄保存

柄追加|編集 F

粋 遅 択 ・拡大 **OK**

OK

OK

OK

OK

≫d)+X

刺しゅう可能範囲を超える編集はできません。その場合ピピピとなってお知らせします。 編集が終わったら、「OK」または「コ」をタッチして、設定画面に戻ります。

G.枠選択・拡大ボタン

このボタンをタッチすると、2 つのボタ ンが現れます。

i. 刺繍枠選択ボタン 刺しゅう枠と色替え停止位置を再設定で きます。12ページを参照してください。

ii. 拡大表示ボタン

柄のイメージを拡大できます。上下ボタ ン(a、b)で位置を移動します。 全体の中の拡大位置は黒い四角で表され ます。(c)

「⇒」をタッチすると、設定画面に戻ります。



●設定が終わったら、

引き続き模様や文字を入力したい場合

「柄追加」をタッチしてタイトル画面に戻 り、模様や文字を選択します。文字の選 び方は、次ページを参照してください。 タイトル画面で1つ目の入力欄に黒いマー ク[■]が表示されます。 これは、柄が1つ入力されたことを表して

「OK」をタッチすると設定画面に戻ります。

刺しゅうをぬい始めたいときは、

設定画面で「OK」をタッチします。 ⇒糸交換画面が表示されます。 刺しゅうぬいを開始するには、54 ページ を参照してください。



| 文字の選び方 | |
|---|--|
| この刺しゅう機には、ひらがな、カタカナ、 アルファベット/数字、記号に加え、名前 によく使われる漢字を多く内蔵しています。 (38 ページ「文字一覧」参照) | 1 タイトル 画面 USB 回訳に) |
| タイトル画面を開きます。 すでに他の模様や文字が入力されている場合には、入 力欄に黒いマークが表示され、2つ目の空欄に下線が ついています。すべてを削除して始めからやり直すに は、削除画ボタンをタッチします。 | 文字選択 面面 「たなは 辞記号 1000 し 「たらわい変換 」 、 |
| 2. 文字選択ボタンをタッチします。 ⇒文字選択画面が表示されます。 ひらがなの選び方 | あかざ <u>1</u> 0K たなは繋記号 (88) × |
| 1. 又字選択回面から選びたい「かな」の行 を選びます。 ⇒その行のかなが表示されます。 2. 選びたいかなをタッチします。 ⇒選ばれたかなが、右上に表示されます。 | |
| 濁点、半濁点、小文字にするには、さらに「※」」をタッチします。 間違えたときは「★★」で削除できます。 3. 同じようにして次のかなを選んでいきます。 | |
| ⇒右上に追加されます。 4. 選び終わったら、OKをタッチします。 ⇒文字編集画面に変わります。 (18 ページ参照) 注意 | あかさ すずき 0K たなは 辨認 ∞ まやらわ 泳変換 ⊃ |
| 「OK」をタッチせずに「記号」「ABC」をタッチすると、 選んだひらがなは入力されません。必ず「OK」をタッチ して入力を確定してください。 | 文字 編集 画面 追加削除保存/読出 |
| カタカナの選び方 1. 文字選択画面からひらがなと同じ要領で ひらがなのまま選びます。 2. 選び終わったら、「カタカナ」をタッチし | あかさ すずき OK たなは 料記 = 1000 - X まやらい 秋 こ |
| ます。 ⇒選ばれたかながカタカナになって、文 字編集画面に変わります。(18 ページ参 照) 16 | 文字 編集 画面 追加削除 (保存/読出) し |



文字の編集

文字編集画面で、文字の追加、削除、保存/読出ができます。

選んだ文字は、画面上段に表示されますが、 表示しきれないときは、一部を表示します。 左右の「く]」「[>」が反転しているときは、 それをタッチすることにより、表示させるこ とができます。

●文字の追加

- 「追加」をタッチします。
 ⇒文字選択画面が表示されます。
- 2. 前ページの要領で、文字を選んで追加で きます。

刺しゅう範囲を超える文字数は、追加できません。

●文字の削除

「削除」をタッチします。 ⇒最後に選んだ文字が削除されます。

「 🛠 」でも削除されます。

タッチし続けると全部削除されます。

<u>編集が終わったら、</u>

「OK」ボタンをタッチします。 ⇒刺しゅう枠の設定画面が現れます。 模様と同じように枠と停止位置を選びます。 (12ページ参照) ⇒文字の設定画面になります。

●文字の保存

文字の組み合わせを2通り保存させる事が できます。 文字は、保存していなくてもぬうことができます。

保存されるのは、文字の組み合わせのみです。 文字の設定(20ページ参照)は保存されません。

保存の仕方

- 1. 文字を選びます。
- 2. 文字編集画面で「保存/読出」をタッチします。
 ⇒保存/読出画面が表示されます。
- フォルダが2つありますので、どちらか をタッチして選びます。
 ⇒フォルダが反転表示されます。
- 4.「保存」をタッチします。
 ⇒文字が保存され、フォルダの絵が「保 存データあり」に変わります。
- 5.「戻る」をタッチします。
- 18⇒文字編集画面に戻ります。



保存した文字の読み出し

- タイトル画面から文字選択ボタンをタッ チします。
 ⇒文字選択画面が表示されます。
- ○K」をタッチします。
 ⇒文字編集画面が表示されます。
- 3.「保存/読出」をタッチします。
 ⇒保存/読出画面が表示されます。
- 4. 読み出したい「保存データあり」フォル ダを選びます。
 ⇒フォルダが反転表示されます。
- 5.「読出」をタッチします。 ⇒文字が読み出されます。(文字編集画面) 読み出された文字は、編集したり「OK」で文字設定や、 ぬいに進むことができます。

保存した文字の削除

- 保存/読出画面で、
 削除したい「保存データあり」フォルダ を選びます。
 ⇒フォルダが反転表示されます。
- 2. 削除ボタンをタッチします。
 ⇒削除確認画面が表示されます。
- 3-a そのまま削除したい場合は、「はい」を タッチします。 ⇒削除され、フォルダが「保存データなし」

に変わります。

3-b 削除しない場合は、「いいえ」をタッチ します。

⇒削除されず保存/読出画面が表示され ます。

- 3-c 内容を確認したい場合は、「データを表 示する」をタッチします。 ⇒内容が表示されます。 削除する場合は、「はい」、しない場合は、 「いいえ」をタッチします。 ⇒保存/読出画面になります。
- 4.「戻る」をタッチします。
 ⇒文字編集画面に戻ります。





文字の設定

文字編集画面で「OK」をタッチすると、刺しゅう枠設定画面が表示されます。12ページ を参照し、刺しゅう枠のサイズと色替え位置を設定してください。

刺しゅう枠の設定が終わると、文字の設定画面が表示されます。

設定項目は、以下に説明する編集ボタンと文字の色替えボタンを除いて、模様の設定(13ページ)と同じです。

刺しゅうの模様や文字を柄と呼びます。 複数の柄が入力されているときは、それぞれ のイメージが画面に表示されます。 「柄切替」をタッチして、編集する柄を切り 替えます。編集する柄は、イメージが枠で囲 まれます。(13ページ参照)

A. 編集ボタン

このボタンをタッチすると、3つの設定 ボタンと画面切り替えボタンが現れます。 (編集画面 1)

i. サイズ変更ボタン

文字サイズ設定画面が表示されます。 2 行目に文字サイズが表示されます。 「+」「-」をタッチして、1.0mm 単位で サイズを変えられます。 「RST」で初期値に戻ります。 (変更可能範囲 10mm ~ 30mm:初期値 10mm) 「OK」または「⇒」をタッチすると、編 集画面1に戻ります。

ii. 回転ボタン

模様の回転と同じです。

iii.移動・反転ボタン

移動・反転画面が現れます。 模様の移動・反転と同じです。 文字の設定にはもう1つのボタン(a)が あります。

a. 刺しゅう開始位置の確認ボタン

このボタンをタッチすると、刺しゅう枠

を開始位置へ動かします。文字をつないでぬうときに使用します。(57ページ参照)ボタンの絵が「\]」「\]、」に変わります。

このボタンをもう一度タッチすると、刺しゅう枠が中央に戻ります。ボタンの絵が「[<u>×</u>]」に戻ります。

設定が終わったら、「OK」または「コ」をタッチすると、編集画面1に戻ります。

設定内容が変わると、編集画面1のボタンに「*」がつきます。





iv.画面切り替えボタン

「>>」をタッチすると、次の3つの設定 ボタンが表示される画面に切り替わりま す。

(編集画面2)

「<<」をタッチすると編集画面1に戻り ます。

v. 文字方向ボタン

このボタンをタッチすると、文字をたて 書き・よこ書きに切り替えられます。 反転している方が選ばれています。 初期設定は「よこ」です。 設定が終わったら、「OK」または「」 をタッチして、編集画面2に戻ります。 「たて」に設定するとボタンに「*」がつきます。

vi.円弧配置ボタン

このボタンをタッチすると、よこ書きの 文字を円弧状に配置することができます。 たて書きの文字には設定できません。

a. 凸円弧ボタン

b. 凹円弧ボタン

c. リセットボタン

(a) (b) どちらかをタッチすると、円弧 の調整画面が表示されます。よこ幅ボタ ン (d) とたて幅ボタン (e) を選んでか ら (反転表示になります)、「+」「-」を タッチして値を調整します。 設定したら「OK」ボタンまたは「♪」 ボタンをタッチして円弧の選択画面に戻 ります。 設定した円弧ボタンに「*」がつきます。 リセットボタン (c) をタッチすると直線 配置に戻ります。 設定が終わったら、「OK」または「♪」 をタッチして、編集画面2に戻ります。

円弧に設定するとボタンに「*」がつきます。



vii. 文字間調整ボタン

編集画面2で、「文字間調整」をタッチす ると、文字間調整画面が表示されます。 文字と文字の間隔が調整できます。移動 ボタン()で調整したい文字間にカー ソルを動かし、「+」、「-」ボタンで間 隔を調整します。(調整可能範囲 -5.0 ~ 9.9mm:初期值 2.0mm) 文字間隔の値を設定したあと、「全体 | を タッチすると、すべての文字間隔がその 値に変わります。このときボタンが反転 し、数秒後にピピッとなります。 「RST」をタッチするとすべての文字間隔 が初期値に戻ります。 設定が終わったら、「OK」または「**↓**」 をタッチし、編集画面2に戻ります。 文字間調整するとボタンに「*」がつきます。



お知らせ:

刺しゅう範囲が刺しゅう枠のサイズを超える ような設定をしようとするとピピピと鳴って 設定ができません。

刺しゅう枠のサイズ、文字の大きさ、文字間 隔などを変えると、設定可能となる場合があ ります。

編集が終わったら、「OK」または「♪」をタッ チして設定画面に戻ります。

B. 文字の色替えボタン

文字刺しゅうをするとき、通常は全部の 文字を一度にぬいますが、1文字ごとに ぬいを停止して、色替えできるよう設定 することができます。このボタンをタッ チすると、ボタンが反転し、色替えがで きるようになります。



●設定が終わったら、

引き続き柄を入力したい場合

「柄追加」をタッチしてタイトル画面に戻り、模様や文字を選択します。(12、16ページ)

タイトル画面で入力欄に黒いマーク■が 表示されます。

これは、柄が入力されたことを表しています。

「OK」をタッチすると設定画面に戻ります。

刺しゅうをぬい始めたいときは、

設定画面で「OK」をタッチします。 ⇒糸交換画面が表示されます。 刺しゅうぬいを開始するには、54 ページ を参照してください。



お知らせ

「う」をタッチすると、通常その操作前の 画面に戻りますが、設定中に「う」を長く タッチし続けると、タイトル画面に戻ります。 「タイトル画面に戻ります。よろしいです か?」とメッセージが表示されますので、「は い」をタッチしてください。「いいえ」をタッ チすると元の画面に戻ります。



メッセージー覧_____

主なメッセージの一覧です。

ミシンや刺しゅう機の状態により、これ以外のメッセージが表示されることもあります。

| 送り歯は下げましたか? | 刺しゅう機接続時、送り歯を下げま したか? 「はい」か「いいえ」を タッチしてください。 洋り歯を下げていないとき 零酒を | タイトル画面に戻ります。 よろしいですか? 【はい】 「いいえ | 「⇒」を長押しした場合、タイト ル画面に戻ります。戻るときは「は い」、戻らないときは「いいえ」を タッチしてください。 |
|--|---|--|--|
| 電源を切って、述り出を 下げてください。 ① ON OFF ② ▲本 ★★ (C★) ◇ (C★) | 切ったあと、刺しゅう機を取り外 し、送り歯を下げてください。 | ① 文字入力エラー ① これ以上、入力できません。 | 文字を選択中に刺しゅう範囲を超え ました。これ以上選べません。 |
| 押えが下がっています。 押えを上げて[0K]を 押して下さい。 | 押えが下がっています。押え上げレ バーで押えを上げてから、「OK」 をタッチしてください。 | 色ブロック送りします。 よろしいですか? 〔は い〕〔いいえ | ぬい画面で次の糸色にぬいを進めま すか?「はい」で進みます。「いい え」で現在のぬい位置に戻ります。 |
| 針が下がっています。 針を上げて[0K]を 押して下さい。 | 針が下がっています。針上下ボタン か、はずみ車を手前に回して針を上 げ「OK」をタッチしてください。 | 色ブロック戻りします。 よろしいですか? 【はい】(いいえ | ぬい画面で前の糸色にぬいを戻しま すか?「はい」で前の色に戻ります。 「いいえ」で現在のぬい位置に戻り ます |
| | 糸巻き軸か石に押されています。糸 巻き軸を左に戻して、「OK」をタ ッチしてください。 フットコントローラーがミシンに接 | 縫いを中止し設定画面に 戻ってもよろしいですか? [はい] [いいえ] | より。 ぬい画面で「 ⊃ 」をタッチすると、 設定画面に戻ります。「はい」で設定 画面に戻ります。「いいえ」でぬい画 |
| ミシンからはずし、[OK]を 押して下さい。 キャリッジが動きます。 よろしいですか? | 続されています。外して、「OK」 をタッチしてください。 キャリッジが動きます。キャリッジ の周りに注意して、「はい」をタッ | ① USB読込エラー ① データが破損しています。 メニューに戻ります。 | 回りままになります。 USBメモリから読み込もうとしている データが破損しているため読み込めま せん。他の模様を選んでください。 |
| しいですか? | チしてください。 キャリッジが収納位置に動きます。 動かすとき「はい」、そのままの | ▲ USB読込エラー ▲ 針数・色替回数または 柄サイズオーバーです。 メニューに戻ります。 | USBメモリから読み込もうとしてい るデータが大きすぎます。他の模様 を選んでください。 |
| してい いいえ しいえ しいえ しいえ しいですか? | とき「いいえ」をタッチしてくだ さい。 キャリッジが開始位置に動きます。 動かすとき「はい」、そのままの | ①USB接続エラー ①SBから配置した柄削除 [OK]を押して下さい。 | USBメモリの接続が切れたため、読 み込んでいる柄データが削除されま した。「OK」をタッチしてタイト ル画面に戻ります。 |
| <u>しまい」しいいえ</u> <u>小</u> 文字入力エラー <u>小</u> 文字を選択してください。 | さい。 文字を選ばずに次へ進もうとしてい ます。文字を選んでください。 | ① USB読込エラー ① ファイル数が多すぎるか、 フォルダ階層が深すぎます。 [OK]を押して下さい。 | USBメモリのファイル数が多すぎる か、フォルダ階層が深すぎて、読み 込めません。「OK」をタッチして タイトル画面に戻ります。 |
| 全ての柄を 配置から削除します 枠移動する場合があります しいいえ | 選んだ全ての柄を削除します。削除 するときは「はい」、しないときは 「いいえ」をタッチしてください。 | ▲USBデータエラー <u>▲</u> USBのデータ異常です [OK]を押して下さい。 | USBメモリのデータが、読み込めま せん。「OK」をタッチしてタイト ル画面に戻ります。 |
| 選択中の柄を 配置から削除します 枠移動する場合があります 【はい】 (しいえ) | 設定画面で選択した柄を削除します。 削除するときは「はい」、しないとき は「いいえ」をタッチしてください。 | 小 エラー 小 糸をかけ直して.[OK]を 押して下さい。 | 上糸、下糸がなくなったり、切れて いないか確認して、糸をかけ直して ください。 |
| 柄選択メニューに戻ります 選択中の柄編集情報を リたりします したいえ 24 | 柄設定中に「♪」をタッチすると、 模様や文字の選択画面に戻ります。 設定中の内容は削除されます。戻る ときは「はい」、戻らないときは「 いいえ」をタッチしてください。 | ① 通信エラー① 電源を入れ直して下さい | 電源を切り、ミシンと刺しゅう機の 接続を確認して、電源を入れ直して ください。 |

模様一覧(ワンポイント).

この一覧には、模様番号、たての大きさ、よこの大きさ、針数、ぬう糸の色を表示しています。 写真と実際の刺しゅうとでは、形が少し異なることがあります。 糸の色はぬうときの目安です。いろいろ試しぬいをしてお好みの色でぬってください。 大きさは、初期設定値です。針数は、設定により異なってきます。



co.jp) 製、「マスタークリップ」のクリップアートを使用しています。





模様一覧(セレクション)_





模様一覧(ヨーロピアン1)-



模様一覧(ヨーロピアン 1)



模様一覧(ヨーロピアン 1)-



模様一覧(ヨーロピアン 2).



模様一覧(ヨーロピアン 2)



模様一覧(ヨーロピアン 2).



模様一覧(ヨーロピアン 2)



模様一覧(ヨーロピアン3)



文字一覧-

この刺しゅう機でぬえる文字は、人名などによく使われるものから選んでいます。お客様 のぬいたい文字が含まれていない場合は、ご容赦ください。 次ページからの文字一覧では、読みの変換で候補に出てくる文字を五十音順に並べています。 候補には、ひらがな、カタカナも含まれます。 刺しゅう機では、入力された読みで始まる全ての文字が候補として表示されます。 文字一覧と実際の刺しゅうとでは、文字形状が異なります。

---- ひらがな ---- カタカナ ---- 記号 ----あいうえお|アイウエオ|- | 々、。・/ 「 | ¬ ∟() ~~? ! & ♪~ かきくけこ|カキクケコ| ∫___[__0123456789 さしすせそサシスセソ っ∟へ〜は、たて書きのかっこ。__」 は全角のスペース。___ は、半角の スペースです。 たちつてと タチツテト なにぬねの ナニヌネノ --- アルファベット(ゴシック体)---はひふへほ ハヒフヘホ ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ まみむめも マミムメモ abcdefghijklmnopgrstuvwxyz 0123456789-,.'/?!&()<> _____ やゆよ ヤユヨ ラリルレロ らりるれろ わをん ワヲン --- アルファベット(明朝体)---がぎぐげご ガギグゲゴ ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ ざじずぜぞ ザジズゼゾ abcdefghijklmnopqrstuvwxvz 0123456789-..'/?!&()<>L_JLJ だぢづでど ダヂヅデド ばびぶべぼ バビブベボ ぱぴぷぺぽ パピプペポ --- アルファベット(筆記体)---ABCDEFGHIJKLMNOPQRGTUVWXYZ あいうえお アイウエオ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz つやゆよ ツヤユヨ 0123456789-,. '/?!&() <> []]

--- アルファベット(オールドイングリッシュ)---

ABCDEFGHIJKLMIDPORSTUPWXDZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxy3

0123456789-,.`/?!&()<>_____

| 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 |
|------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|------|----|
| あ | | あさ | 麻 | あま | 尼 | い | 衣 | いもうと | 妹 |
| あ | あ | あさい | 浅 | あまい | 甘 | い | 倭 | いる | 居 |
| あ | ア | あさひ | 旭 | あまる | 余 | い | 井 | いる | 射 |
| あ | 亜 | あざ | 字 | あみ | 網 | い | 亥 | いる | 入 |
| あ | 阿 | あし | 芦 | あめ | 雨 | いえ | 家 | いる | 要 |
| あい | 愛 | あし | 足 | あや | 絢 | いおり | 庵 | いれる | 容 |
| あい | 相 | あし | 疋 | あや | 綾 | いかり | 碇 | いろ | 色 |
| あい | 藍 | あじ | 味 | あや | 彩 | いきおい | 勢 | いろどる | 彩 |
| あいだ | 間 | あずさ | 梓 | あゆ | 鮎 | いきる | 生 | いわ | 岩 |
| あう | 逢 | あぜ | 畦 | あゆむ | 歩 | こく | 育 | いわう | 祝 |
| あう | 숲 | あぜ | 畔 | あらい | 荒 | こく | 郁 | いわお | 巖 |
| あう | 合 | あそぶ | 遊 | あらう | 洗 | こく | 行 | いん | 允 |
| あお | 青 | あたえる | 与 | あらかじめ | 予 | いけ | 池 | いん | 印 |
| あお | 蒼 | あたたかし | い温 | あらし | 嵐 | いさお | 勲 | いん | 弓[|
| あお | 碧 | あたま | 頭 | あらためる | 改 | いさお | 功 | いん | 胤 |
| あおい | 葵 | あたらしし | 新 | あらわす | 表 | いさぎよい | 潔 | いん | 蔭 |
| あか | 赤 | あたり | 辺 | ある | 在 | いさむ | 勇 | いん | 院 |
| あかね | 茜 | あたり | 邊 | ある | 有 | いさめる | 諌 | いん | 陰 |
| あかるい | 明 | あたり | 邉 | あるく | 歩 | いし | 石 | いん | 音 |
| あがた | 県 | あたる | 当 | あわ | 粟 | いずみ | 泉 | う | |
| あがた | 縣 | あつい | 渥 | あわい | 淡 | いそ | 磯 | う | う |
| あき | 穐 | あつい | 厚 | あん | 安 | いそ | 礒 | う | ウ |
| あき | 秋 | あつい | 淳 | あん | 庵 | いた | 板 | う | 右 |
| あきらか | 晃 | あつい | 篤 | あん | 杏 | いち | | う | 宇 |
| あきらか | 彰 | あつい | 惇 | あん | 行 | いち | 壱 | う | 羽 |
| あきらか | 眧 | あつい | 敦 | あんず | 杏 | いち | 市 | う | 雨 |
| あきらか | 晶 | あつい | 熱 | い | | こう | 逸 | う | 卯 |
| あきらか | 章 | あつめる | 集 | い | クノ | いつくしむ | 慈 | う | 鵜 |
| あきらか | 亮 | あてる | 充 | い | ゐ | いつつ | Ŧī. | うい | 初 |
| あく | 空 | あと | 後 | い | イ | いと | 糸 | うえ | 上 |
| あくた | 芥 | あと | 跡 | い | 며 | いね | 犬 | うえる | 植 |
| あくつ | 圷 | あな | 穴 | い | 位 | いぬい | 乾 | うお | 魚 |
| あけぼの | 曙 | あね | 姉 | い | 伊 | いね | 稲 | うく | 浮 |
| あける | 開 | あぶ | 虻 | い | 依 | いのしし | 猪 | うける | 享 |
| あげる | 上 | あぶら | 油 | い | 惟 | いばら | 茨 | うし | ±. |
| あさ | 朝 | あま | 天 | い | 為 | いま | 今 | うし | 牛 |

| 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 |
|--------|---------|-----|----|------|----|-------|----|-----|----|
| うしろ | 後 | え | 恵 | お | | おごそか | 巌 | おんな | 女 |
| うじ | 氏 | え | 江 | お | お | おさない | 稚 | か | |
| うす | 碓 | え | 重 | お | オ | おさない | 幼 | か | か |
| うす | 臼 | え | 柄 | お | 緒 | おさめる | 治 | か | カ |
| うすい | 薄 | えい | 叡 | お | 小 | おさめる | 修 | か | 力 |
| うた | 唄 | えい | 影 | お | 尾 | おさめる | 納 | か | ケ |
| うた | 歌 | えい | 曳 | おい | 笈 | おしえる | 教 | か | 榎 |
| うた | 詩 | えい | 永 | おいて | 於 | おす | 押 | か | 下 |
| うち | 内 | えい | 栄 | おいる | 老 | おす | 雄 | か | 佳 |
| うつ | 征 | えい | 瑛 | おう | 央 | おちる | 落 | か | 加 |
| うつ | 打 | えい | 英 | おう | 奥 | おつ | Z | か | न |
| うつくしい | 美 | えい | 衛 | おう | 押 | おっと | 夫 | か | 夏 |
| うま | 馬 | えき | 益 | おう | 横 | おと | 音 | か | 嘉 |
| うまれる | 生 | えだ | 枝 | おう | 王 | おとこ | 男 | か | 家 |
| うみ | 海 | えつ | 悦 | おう | 翁 | おとずれる | 訪 | か | 科 |
| うめ | 梅 | えつ | 越 | おう | 黄 | おとろえる | 衰 | か | 果 |
| うやうやしい | 恭 | えのき | 榎 | おう | 鴨 | おなじ | 同 | か | 歌 |
| うやまう | 敬 | えび | 蛯 | おう | 桜 | おに | 鬼 | か | 火 |
| うら | 浦 | えびす | 戎 | おう | 櫻 | おのおの | 各 | か | 河 |
| うらない | \land | えむ | 笑 | おう | 追 | おのれ | 己 | か | 花 |
| うらなう | 占 | えり | 衿 | おうぎ | 扇 | おびる | 帯 | か | 茄 |
| うり | 瓜 | える | 得 | おおい | 多 | おぼえる | 覚 | か | 華 |
| うるおう | 潤 | えん | 円 | おおきい | 大 | おも | 主 | か | 霞 |
| うるし | 漆 | えん | 夏 | おおとり | 鳳 | おもい | 重 | か | 日 |
| うるわしい | 麗 | えん | 延 | おおやけ | 公 | おもて | 表 | かい | 介 |
| うれい | 愁 | えん | 演 | おか | 岡 | おや | 親 | かい | 会 |
| うれしい | 嬉 | えん | 猿 | おき | 沖 | およぶ | 及 | かい | 改 |
| うん | 運 | えん | 艶 | おきな | 翁 | おりる | 降 | かい | 海 |
| うん | 雲 | えん | 苑 | おぎ | 荻 | おる | 纎 | かい | 皆 |
| え | | えん | 薗 | おく | 屋 | おる | 折 | かい | 芥 |
| え | え | えん | 遠 | おく | 奥 | おろす | 下 | かい | 蟹 |
| え | ゑ | えん | 塩 | おく | 置 | おん | 遠 | かい | 開 |
| え | I | えん | 媛 | おくれる | 後 | おん | 恩 | かい | 階 |
| え | 고 | えん | 淵 | おけ | 桶 | おん | 温 | かい | 堺 |
| え | 依 | えん | 渕 | おこす | 興 | おん | 音 | かい | 桧 |
| え | 会 | | | おこなう | 行 | おん | 御 | かい | 檜 |
| 40 | | | | | | 1 | I | | |

| 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 |
|------|----|------|----|------|-----|-------|----|-----|----|
| かい | 貝 | かじ | 梶 | かぶ | 蕪 | かん | 管 | がん | 岩 |
| かう | 飼 | かす | 糟 | かぶと | 甲 | かん | 諌 | がん | 元 |
| かえで | 楓 | かす | 粕 | かぶらや | 鏑 | かん | 貫 | き | |
| かえる | 替 | かすみ | 霞 | かべ | 壁 | かん | 間 | き | き |
| かおり | 香 | かず | 数 | かま | 釜 | かん | 関 | き | キ |
| かおり | 芳 | かぜ | 風 | かま | 鎌 | かん | 館 | き | 磯 |
| かおる | 馨 | かた | 潟 | かみ | 紙 | かん | 舘 | き | 企 |
| かおる | 薫 | かた | 片 | かみ | 上 | かん | 串 | き | 喜 |
| かかり | 係 | かた | 方 | かみ | 神 | かん | 甲 | き | 基 |
| かがみ | 鏡 | かたい | 堅 | かめ | 亀 | かん | 菅 | き | 嬉 |
| かがやく | 輝 | かたい | 難 | かも | 鴨 | かんがえる | 考 | き | 岐 |
| かき | 垣 | かたち | 形 | かや | 茅 | かんばしい | う芳 | き | 寄 |
| かき | 柿 | かたな | 刀 | かや | 萓 | が | | き | 希 |
| かぎ | 鍵 | かたる | 語 | かゆ | 粥 | が | が | き | 旗 |
| かく | 各 | かたわら | 傍 | から | 空 | が | ガ | き | 気 |
| かく | 覚 | かつ | 割 | から | 唐 | が | 我 | き | 毅 |
| かく | 角 | かつ | 滑 | からい | 辛 | が | 峨 | き | 季 |
| かく | 郭 | かつ | 葛 | かる | JŲ] | が | 芽 | き | 紀 |
| かく | 鶴 | かつ | 克 | かる | 苅 | が | 賀 | き | 規 |
| かく | 塙 | かつ | 勝 | かる | 狩 | が | 雅 | き | 記 |
| かけい | 筧 | かつて | 曽 | かるい | 軽 | がい | 亥 | き | 貴 |
| かける | 掛 | かつて | 曾 | かわ | 河 | がい | 外 | き | 輝 |
| かける | 翔 | かつら | 桂 | かわ | Ш | がい | 苅 | き | 鬼 |
| かげ | 蔭 | かど | 角 | かわく | 乾 | がく | 学 | き | 亀 |
| かげ | 陰 | かど | 門 | かわす | 交 | がく | 岳 | き | 己 |
| かげ | 影 | かど | 廉 | かわる | 代 | がく | 楽 | き | 其 |
| かげ | 景 | かな | 哉 | かん | 乾 | がく | 額 | き | 槻 |
| かご | 篭 | かなう | 叶 | かん | 寒 | がく | 鶴 | き | 黄 |
| かご | 竉 | かなでる | 奏 | かん | 勘 | がく | 嶽 | き | 樹 |
| かさ | 笠 | かなめ | 要 | かん | 巻 | がつ | 合 | き | 生 |
| かさ | 嵩 | かに | 蟹 | かん | 完 | がつ | 月 | き | 木 |
| かさなる | 重 | かね | 金 | かん | 寛 | がま | 蒲 | きく | 菊 |
| かし | 樫 | かね | 鐘 | かん | 干 | がら | 柄 | きく | 鞠 |
| かしこい | 賢 | かねる | 兼 | かん | 幹 | がん | 丸 | きく | 利 |
| かしら | 頭 | かば | 樺 | かん | 漢 | がん | 岸 | きし | 岸 |
| かしわ | 柏 | かば | 椛 | かん | 甘 | がん | 巖 | きずく | 築 |

| 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 |
|------|----|------|----|------|----|---------|----|------|----|
| きた | 北 | きょう | 興 | ぎょく | 王 | くま | 隈 | け | 家 |
| きたえる | 鍛 | きょう | 郷 | ぎん | 銀 | くみ | 組 | け | 華 |
| きたる | 来 | きょう | 鏡 | < | | <& | 粂 | け | 気 |
| きち | 吉 | きょう | 響 | < | く | くも | 雲 | け | 毛 |
| きつ | 橘 | きょう | 饗 | < | ク | くもる | 曇 | けい | 馨 |
| きつ | 詣 | きょう | 経 | < | 久 | くら | 倉 | けい | 京 |
| きつね | 狐 | きょう | 香 | < | 宮 | <5 | 蔵 | けい | 境 |
| きぬ | 絹 | きょく | 旭 | < | 九 | くらい | 位 | けい | 係 |
| きね | 杵 | きょく | 極 | < | 玖 | くらべる | 比 | けい | 刑 |
| きびしい | 巌 | きり | 桐 | < | 矩 | くり | 栗 | けい | 啓 |
| きみ | 君 | きる | 切 | < | 駒 | くりや | 厨 | けい | 圭 |
| きゅう | 臼 | きわ | 際 | < | 功 | くる | 来 | けい | 形 |
| きゅう | 久 | きわめる | 極 | < | | くるま | 車 | けい | 恵 |
| きゅう | 及 | きん | 錦 | < | X | <れ | 呉 | けい | 慶 |
| きゅう | 宮 | きん | 欣 | < | Ţ | くれない | 紅 | けい | 敬 |
| きゅう | 弓 | きん | 欽 | < | 紅 | くれる | 暮 | けい | 景 |
| きゅう | 笈 | きん | 琴 | くう | 空 | くろ | 黒 | けい | 桂 |
| きゅう | 九 | きん | 筋 | くう | 食 | くろがね | 鉄 | けい | 畦 |
| きゅう | 玖 | きん | 芹 | くぎ | 釘 | くわ | 桑 | けい | 経 |
| きゅう | 鳩 | きん | 衿 | くさ | 草 | くわ | 鍬 | けい | 継 |
| きよい | 清 | きん | 近 | <し | 串 | くわえる | 加 | けい | 蛍 |
| きょ | 居 | きん | 金 | <し | 櫛 | くわだてき | る企 | けい | 軽 |
| きょ | 渠 | きん | 今 | くじら | 鯨 | くん | 勲 | けい | 勁 |
| きょう | 杏 | ぎ | | くすのき | 楠 | くん | 君 | けずる | 削 |
| きょう | 亨 | ぎ | ぎ | くすり | 薬 | くん | 薫 | けた | 桁 |
| きょう | 京 | ぎ | ギ | くず | 葛 | ぐ | | けつ | 傑 |
| きょう | 享 | ぎ | 儀 | くだ | 管 | $<_{"}$ | ぐ | けつ | 穴 |
| きょう | 協 | ぎ | 宜 | くだる | 下 | $<_{"}$ | グ | けつ | 潔 |
| きょう | 王 | ぎ | 義 | くち | | $<_{"}$ | 具 | けつ | 結 |
| きょう | 喬 | ぎ | 礒 | <> | 沓 | ぐう | 宮 | けわしい | 峨 |
| きょう | 境 | ぎゃく | 逆 | くに | 王 | ぐう | 隅 | けん | 絢 |
| きょう | 強 | ぎゅう | 牛 | くに | 邦 | ぐん | 軍 | けん | 蔖 |
| きょう | 恭 | ぎょ | 魚 | くばる | 配 | ぐん | 郡 | けん | 間 |
| きょう | 教 | ぎょ | 御 | くび | 首 | け | | けん | 健 |
| きょう | 橋 | ぎょう | 形 | <ぼ | 窪 | け | け | けん | 兼 |
| きょう | 狭 | ぎょう | 行 | くま | 熊 | け | ケ | けん | 剣 |
| 42 | | | | | | | | | |

| 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 |
|----------|----|----|-----------|------|----|----------|-----|----------|----|
| けん | 堅 | Ž | 戸 | こう | 恒 | こころざす | † 志 | <u> </u> | 語 |
| けん | 建 | Ž | 湖 | こう | 晃 | こし | 腰 | Ĩ | 護 |
| けん | 憲 | Ž | 狐 | こう | 更 | こし | 輿 | Ĩ | 醐 |
| けん | 拳 | Ž | 股 | こう | 校 | こす | 越 | ごう | 強 |
| けん | 権 | Ž | 胡 | こう | 江 | こずえ | 梶 | ごう | 郷 |
| けん | 犬 | Ž | 菰 | こう | 洪 | こずえ | 梢 | ごう | 剛 |
| けん | 研 | Ž | 虎 | こう | 浩 | こと | 琴 | ごう | 合 |
| けん | 絹 | Ž | 黄 | こう | 港 | ことぶき | 寿 | ごう | 豪 |
| けん | 県 | Ž | 子 | こう | 溝 | このむ | 好 | ごう | 車 |
| けん | 見 | Ž | 児 | こう | 甲 | こぶし | 拳 | ごく | 極 |
| けん | 謙 | Ž | 小 | こう | 紅 | こま | 駒 | ごとに | 毎 |
| けん | 賢 | Ž | 木 | こう | 絃 | こまかい | 細 | ごん | 権 |
| けん | 鍵 | こい | 鯉 | こう | 耕 | こむ | 込 | ごん | 巌 |
| けん | 筧 | こい | 濃 | こう | 綱 | こめ | 米 | <i>さ</i> | |
| けん | 縣 | こう | 黄 | こう | 考 | こめる | 篭 | さ | さ |
| けん | 蜷 | こう | 岡 | こう | 航 | こめる | 籠 | さ | サ |
| げ | | こう | 亨 | こう | 行 | こやす | 肥 | さ | 佐 |
| げ | げ | こう | 興 | こう | 荒 | これ | 是 | さ | 左 |
| げ | ゲ | こう | 桁 | こう | 降 | これ | 之 | さ | 嵯 |
| げ | 下 | こう | 後 | こう | 香 | ころも | 衣 | さ | 沙 |
| げ | 夏 | こう | 交 | こう | 高 | こん | 金 | さ | 砂 |
| げ | 外 | こう | 公 | こう | 鴻 | こん | 建 | さ | 紗 |
| げい | 뽀 | こう | 光 | こう | 鮫 | こん | 今 | さ | 茶 |
| げい | 鯨 | こう | 功 | こう | 尻 | こん | 昆 | さい | 哉 |
| げつ | 月 | こう | 厚 | こう | 廣 | こん | 根 | さい | 最 |
| げん | 元 | こう | \square | こう | 洸 | こん | 紺 | さい | 妻 |
| げん | 原 | こう | 向 | こう | 神 | ご | | さい | 宰 |
| げん | 巌 | こう | 好 | こおり | 氷 | Ĩ | ご | さい | 彩 |
| げん | 弦 | こう | 孝 | こく | 克 | Ĩ | ゴ | さい | 才 |
| げん | 源 | こう | 宏 | こく | 玉 | Ĩ | Æ. | さい | 歳 |
| げん | 彦 | こう | Ţ | こく | 黒 | Ĩ | 伍 | さい | 采 |
| <u>-</u> | | こう | 巧 | こく | 石 | Ĩ | 呉 | さい | 祭 |
| <u>ر</u> | こ | こう | 幸 | こく | 谷 | Ĩ | 吾 | さい | 斎 |
| Z | コ | こう | 広 | 22 | 此 | Ĩ | 御 | さい | 細 |
| こ | 古 | こう | 康 | ここのつ | 九 | Ĩ | 後 | さい | 菜 |
| ĩ | 己 | こう | 弘 | こころ | 心 | <u>_</u> | 悟 | さい | 際 |

| 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 |
|------|----|------|----------|------|----|------|----|-----|----|
| さい | 柴 | さとす | 諭 | | 匹 | しずめる | 鎮 | しゅう | 周 |
| さい | 切 | さとる | 悟 | L | 姉 | した | 下 | しゅう | 宗 |
| さい | 齌 | さます | 覚 | L | 子 | したしい | 親 | しゅう | 修 |
| さいわい | 幸 | さむい | 寒 | L | 市 | しち | 七 | しゅう | 愁 |
| さいわい | 祥 | さむらい | 士 | L | 志 | しつ | 櫛 | しゅう | 秀 |
| さえる | 冴 | さめ | 鮫 | L | 師 | しつ | 室 | しゅう | 洲 |
| さか | 坂 | さら | 更 | L | 指 | しつ | 漆 | しゅう | 秋 |
| さか | 阪 | さら | Ш | L | 施 | しな | 品 | しゅう | 羽白 |
| さかい | 境 | さる | 猿 | L | 枝 | しの | 篠 | しゅう | 舟 |
| さかい | 堺 | さわ | 沢 | L | 氏 | しのぶ | 忍 | しゅう | 集 |
| さかえる | 栄 | さわ | 澤 | L | 糸 | しば | 柴 | しゅう | 袖 |
| さかき | 榊 | さわやか | 爽 | L | 紙 | しば | 芝 | しゅう | 柊 |
| さかな | 魚 | さん | \equiv | L | 紫 | しぶい | 渋 | しゅく | 粥 |
| さからう | 逆 | さん | 山 | L | 詩 | しま | 島 | しゅく | 宿 |
| さかん | 盛 | さん | 讃 | L | 諮 | しま | 嶋 | しゅく | 祝 |
| さき | 崎 | ざ | | L | 飼 | しま | 嶌 | しゅつ | 出 |
| さき | 先 | ざ | ざ | L | 只 | しみる | 染 | しゅん | 峻 |
| さく | 作 | ざ | ザ | L | 巳 | しめる | 占 | しゅん | 俊 |
| さく | 削 | ざ | 座 | L | 矢 | しも | 霜 | しゅん | 春 |
| さく | 割 | ざい | 在 | しあわせ | 幸 | しゃ | 砂 | しゅん | 駿 |
| さく | 咲 | ざい | 財 | しい | 椎 | しゃ | 射 | しゅん | 隼 |
| さくら | 桜 | ざつ | 雑 | しいる | 強 | しゃ | 社 | しょ | 初 |
| さくら | 櫻 | U | | しお | 塩 | しゃ | 紗 | しょ | 所 |
| さけ | 酒 | | L | しお | 汐 | しゃ | 者 | しょ | 渚 |
| さげる | 下 | | シ | しお | 潮 | しゃ | 車 | しょ | 緒 |
| ささ | 笹 | | 梓 | しか | 鹿 | しゅ | 主 | しょ | 諸 |
| ささえる | 支 | | 茨 | しき | 圥 | しゅ | 取 | しょう | 篠 |
| さす | 刺 | | 柿 | しき | 識 | しゅ | 手 | しょう | 匠 |
| さす | 指 | | 仕 | しき | 織 | しゅ | 守 | しょう | 勝 |
| さだめる | 定 | | 支 | しぎ | 鴫 | しゅ | 狩 | しょう | 升 |
| さち | 幸 | | 使 | しく | 敷 | しゅ | 珠 | しょう | 唱 |
| さつ | 杠 | | 司 | しげる | 滋 | しゅ | 種 | しょう | 奨 |
| さと | 郷 | | 刺 | しげる | 繁 | しゅ | 酒 | しょう | 小 |
| さと | 里 | | 史 | しげる | 茂 | しゅ | 首 | しょう | 将 |
| さとい | 聡 | | 嗣 | | 宍 | しゅ | 諏 | しょう | 少 |
| さとい | 敏 | し | 士 | しずか | 静 | しゅう | 穐 | しょう | 尚 |
| 44 | | | | | | | | | |

| 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 |
|-----|----|-----|----|-----|----|------|----|-------|----|
| しょう | 庄 | しん | 晋 | じつ | 日 | じん | 甚 | すこし | 少 |
| しょう | 床 | しん | 新 | じゃく | 若 | じん | 陣 | すこやか | 健 |
| しょう | 彰 | しん | 森 | じゅ | 寿 | す | | すじ | 筋 |
| しょう | 昇 | しん | 榛 | じゅ | 樹 | す | す | すじ | 條 |
| しょう | 昌 | しん | 深 | じゅう | 充 | す | ス | すすむ | 晋 |
| しょう | 昭 | しん | 神 | じゅう | 住 | す | 子 | すすむ | 進 |
| しょう | 松 | しん | 真 | じゅう | + | す | 洲 | すすめる | 奨 |
| しょう | 間 | しん | 紳 | じゅう | 柔 | す | 須 | すすめる | 薦 |
| しょう | 梢 | しん | 秦 | じゅう | 戎 | す | 諏 | ਰ ਰੁੱ | 鈴 |
| しょう | 沼 | しん | 臣 | じゅう | 渋 | す | 素 | すずしい | 涼 |
| しょう | 渉 | しん | 親 | じゅう | 重 | すい | 出 | すな | 沙 |
| しょう | 照 | しん | 辛 | じゅん | 淳 | すい | 吹 | すな | 砂 |
| しょう | 祥 | しん | 進 | じゅん | 準 | すい | 垂 | すなわち | 則 |
| しょう | 笑 | しん | 針 | じゅん | 潤 | すい | 水 | すべる | 滑 |
| しょう | 章 | しん | 辰 | じゅん | 純 | すい | 衰 | すみ | 隅 |
| しょう | 肖 | しん | 津 | じゅん | 醇 | すい | 翠 | すみ | 炭 |
| しょう | 菖 | しん | 槙 | じゅん | 順 | すい | 穂 | すみやか | 速 |
| しょう | 蕉 | じ | | じょ | 助 | すう | 嵩 | すむ | 住 |
| しょう | 鐘 | じ | じ | じょ | 女 | すう | 数 | すむ | 澄 |
| しょう | 翔 | じ | ジ | じょ | 鋤 | すえ | 末 | すむ | 栖 |
| しょく | 植 | じ | 字 | じょう | 上 | すき | 鋤 | すもも | 李 |
| しょく | 織 | じ | 児 | じょう | 丈 | すぎ | 杉 | する | 摩 |
| しょく | 色 | じ | 寺 | じょう | 丞 | すぎ | 椙 | すわる | 座 |
| しょく | 食 | じ | 慈 | じょう | 乗 | すく | 好 | ず | |
| しり | 尻 | じ | 持 | じょう | 城 | すく | 透 | ਰੈ | ず |
| しる | 知 | じ | 時 | じょう | 場 | すくない | 少 | ਰੈ | ズ |
| しるし | 印 | じ | 次 | じょう | 常 | すぐれる | 優 | ਰੈ | 図 |
| しるす | 記 | じ | 滋 | じょう | 条 | すけ | 介 | ਰੈ | 豆 |
| しるす | 銘 | じ | 爾 | じょう | 穣 | すけ | 助 | ਰੈ | 頭 |
| しろ | 城 | じ | 治 | じょう | 蝶 | すけ | 丞 | ずい | 瑞 |
| しろ | 代 | じ | 地 | じょう | 縄 | すけ | 甫 | せ | |
| しろ | 白 | じ | 路 | じょう | 條 | すけ | 亮 | せ | せ |
| しん | 伸 | じき | 食 | じん | 人 | すけ | 輔 | せ | セ |
| しん | 信 | じき | 直 | じん | 仁 | すけ | 佑 | せ | 施 |
| しん | 心 | しじ< | 宍 | じん | 尋 | すけ | 祐 | せ | 世 |
| しん | 慎 | しじつ | 実 | じん | 壬 | すげ | 菅 | して | 瀬 |

| 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 |
|-----|----|----|----|------|----|-----|----|------|----|
| せい | 井 | せり | 芹 | そう | 曾 | そん | 樽 | たかし | 隆 |
| せい | 歳 | せん | 仙 | そう | 倉 | ぞ | | たから | 宝 |
| せい | 勢 | せん | 先 | そう | 奏 | ぞ | ぞ | たがやす | 耕 |
| せい | 征 | せん | 千 | そう | 爽 | ぞ | ゾ | たき | 滝 |
| せい | 成 | せん | 占 | そう | 惣 | ぞう | 雑 | たき | 瀧 |
| せい | 政 | せん | Ш | そう | 早 | ぞう | 像 | たく | 卓 |
| せい | 整 | せん | 扇 | そう | 相 | ぞう | 増 | たく | 宅 |
| せい | 星 | せん | 泉 | そう | 糟 | ぞう | 蔵 | たく | 沢 |
| せい | 晴 | せん | 浅 | そう | 綜 | ぞう | 造 | たく | 拓 |
| せい | 栖 | せん | 洗 | そう | 草 | ぞく | 粟 | たく | 琢 |
| せい | Æ | せん | 染 | そう | 聡 | た | | たく | 度 |
| せい | 清 | せん | 籥 | そう | 荘 | た | た | たく | 澤 |
| せい | 生 | せん | 舛 | そう | 蒼 | た | タ | たくみ | 巧 |
| せい | 盛 | せん | 船 | そう | 霜 | た | 多 | たくみ | 匠 |
| せい | 聖 | せん | 薦 | そう | 鎗 | た | 太 | たけ | 岳 |
| せい | 西 | せん | 銭 | そう | 湊 | た | 汰 | たけ | 丈 |
| せい | 誠 | せん | 苫 | そえる | 添 | た | 手 | たけ | 竹 |
| せい | 青 | ぜ | | そく | 則 | た | 田 | たけ | 嶽 |
| せい | 斉 | ぜ | ぜ | そく | 束 | たい | 碓 | たけし | 健 |
| せい | 静 | ぜ | ゼ | そく | 足 | たい | 対 | たけし | 豪 |
| せい | 靖 | ぜ | 是 | そく | 速 | たい | 帯 | たけし | 武 |
| せき | 潟 | ぜい | 税 | そだつ | 育 | たい | 替 | たけし | 猛 |
| せき | 汐 | ぜに | 銭 | そで | 袖 | たい | 泰 | たすけ | 祐 |
| せき | 石 | ぜん | 前 | そと | 外 | たい | 袋 | たすける | 助 |
| せき | 積 | ぜん | 善 | そなえる | 備 | たい | 黛 | たすける | 輔 |
| せき | 赤 | ぜん | 全 | その | 夏 | たい | 鰢 | たすける | 佑 |
| せき | 跡 | そ | | その | 苑 | たいら | 平 | たずねる | 尋 |
| せき | タ | そ | そ | その | 薗 | たえ | 妙 | たずねる | 訪 |
| せき | 関 | そ | ソ | そめる | 初 | たか | 貴 | たたかう | 鬪 |
| せつ | 切 | そ | 祖 | そめる | 染 | たか | 孝 | ただ | 只 |
| せつ | 折 | そ | 素 | そら | 空 | たか | 鷹 | ただ | 唯 |
| せつ | 設 | そ | 組 | そる | 反 | たかい | 喬 | ただし | 但 |
| せつ | 節 | そ | 蘇 | それ | 其 | たかい | 高 | ただしい | Æ |
| せつ | 雪 | そう | 桑 | そん | 孫 | たかい | 峻 | ただす | 王 |
| せまい | 狭 | そう | 宗 | そん | 尊 | たかい | 嵩 | ただちに | 直 |
| せまる | 迫 | そう | 曽 | そん | 村 | たかし | 敬 | たちばな | 橘 |
| 46 | | | | | | | | | |

| 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 |
|------|----|------|----|-----|-----|------|----|------|----|
| たつ | 達 | たん | 反 | ちゃく | 鏑 | 2 | 津 | つばさ | 翼 |
| たつ | 辰 | だ | | ちゅう | ±₽. | つい | 対 | つぼ | 坪 |
| たつ | 立 | だ | だ | ちゅう | 沖 | つい | 槌 | つぼ | 壷 |
| たつ | 竜 | だ | ダ | ちゅう | 厨 | つい | 追 | つま | 妻 |
| たつ | 龍 | だ | 打 | ちゅう | 中 | つか | 塚 | つむ | 積 |
| たつみ | 巽 | だい | 代 | ちゅう | 仲 | つかう | 使 | つむ | 摘 |
| たっとぶ | 尊 | だい | 台 | ちゅう | 宙 | つかえる | 仕 | つめ | 爪 |
| たて | 舘 | だい | 大 | ちゅう | 忠 | つかさ | 司 | つめる | 計 |
| たて | 館 | だい | 醍 | ちゅう | 昼 | つき | 月 | つや | 艶 |
| たて | 楯 | だい | 内 | ちゅう | 柱 | つき | 槻 | つゆ | 露 |
| たてる | 建 | だい | 乃 | ちょう | 澄 | つぎ | 次 | つよい | 毅 |
| たで | 蓼 | だす | 出 | ちょう | 鯛 | つくだ | 佃 | つよい | 強 |
| たな | 棚 | だん | 刭 | ちょう | 猪 | つくる | 作 | つよし | 剮 |
| たに | 谷 | だん | 段 | ちょう | 帖 | つくる | 造 | つらなる | 連 |
| たね | 胤 | だん | 檀 | ちょう | 張 | しく゛ | 継 | つらぬく | 貫 |
| たね | 種 | だん | 男 | ちょう | 暢 | つける | 付 | つる | 弦 |
| たのしい | 楽 | 5 | | ちょう | 朝 | つげ | 柘 | つる | 鶴 |
| たのむ | 頼 | ち | ち | ちょう | 潮 | つじ | 辻 | つるぎ | 剣 |
| たば | 束 | ち | チ | ちょう | 町 | つた | 蔦 | づ | |
| たび | 度 | ち | 治 | ちょう | 腸 | つたえる | 伝 | づ | づ |
| たべる | 食 | ち | 知 | ちょう | 蝶 | つち | 地 | づ | ヅ |
| たま | 王 | ち | 地 | ちょう | 長 | つち | 槌 | | |
| たま | 珠 | ち | 智 | ちょう | 鳥 | つち | 土 | 2 | つ |
| ため | 為 | ち | 池 | ちょう | 肇 | 22 | 筒 | 2 | ツ |
| たもつ | 保 | ち | 稚 | ちょく | 勅 | つつしむ | 欽 | て | |
| たりる | 足 | ち | 置 | ちょく | 直 | つつしむ | 慎 | τ | て |
| たる | 樽 | ち | 茅 | ちん | 珍 | つつみ | 堤 | τ | テ |
| たれる | 垂 | ち | Ŧ | ちん | 鎮 | つとめる | 努 | τ | 手 |
| たわら | 俵 | ちいさい | 小 | ちん | 椿 | つとめる | 勉 | てい | 鵜 |
| たん | 但 | ちかい | 近 | ぢ | | つとめる | 務 | てい | 醍 |
| たん | 丹 | ちから | 力 | ぢ | ぢ | つどう | 集 | てい | 頁 |
| たん | 旦 | ちく | 築 | ぢ | ヂ | つな | 綱 | てい | 定 |
| たん | 淡 | ちく | 竹 | つ | | つね | 恒 | てい | 堤 |
| たん | 炭 | ちく | 筑 | 2 | つ | つね | 常 | てい | 庭 |
| たん | 端 | ちち | 父 | 2 | ツ | つの | 角 | てい | 悌 |
| たん | 鍛 | ちゃ | 茶 | 0 | 都 | つばき | 椿 | てい | 梯 |

| 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 |
|-----|--------------|------|----|-------|----|------|----|------|----|
| てい | 碇 | とう | 稲 | とく | 篤 | と | 土 | なす | 茄 |
| てい | 禎 | とう | 桶 | とく" | 研 | と | 度 | なっ | 納 |
| てい | 釘 | とう | 桐 | とこ | 床 | どう | 働 | なつ | 夏 |
| てき | 荻 | とう | 沓 | とこ | 常 | どう | 同 | など | 等 |
| てき | 摘 | とう | 登 | ところ | 所 | どう | 堂 | なな | 七 |
| てき | 的 | とう | 冬 | とし | 歳 | どう | 洞 | なべ | 鍋 |
| てき | 笛 | とう | 刀 | とし | 年 | どう | 瞳 | なま | 生. |
| てき | 鏑 | とう | 唐 | とし | 利 | どう | 童 | なみ | 波 |
| てつ | 哲 | とう | 塔 | とち | 栃 | どう | 道 | なみ | 並 |
| てつ | 徹 | とう | 島 | ととのえる | 室 | どう | 銅 | なみ | 浪 |
| てつ | 鉄 | とう | 嶋 | とどろく | 轟 | ど< | 毒 | なめらか | 滑 |
| てら | 寺 | とう | 東 | となえる | 唱 | どん | 曇 | なら | 楢 |
| てる | 輝 | とう | 桃 | との | 殿 | な | | ならう | 羽目 |
| てる | 照 | とう | 棟 | とぶ | 飛 | な | な | なり | 也 |
| てん | 典 | とう | 湯 | とま | 苫 | な | ナ | なる | 成 |
| てん | 天 | とう | 当 | とむ | 富 | な | 奈 | なわ | 縄 |
| てん | 添 | とう | 等 | とむ | 冨 | な | 那 | なん | 南 |
| で | | とう | 筒 | とめる | 留 | な | 菜 | なん | 楠 |
| で | で | とう | 藤 | とも | 智 | な | 名 | なん | 難 |
| で | デ | とう | 豆. | とも | 朋 | ない | 内 | なんじ | 爾 |
| でる | 出 | とう | 透 | とも | 友 | なえ | 苗 | (こ | |
| でん | 佃 | とう | 陶 | ともえ | 巴 | なお | 尚 | に | に |
| でん | 伝 | とう | 頭 | ともなう | 伴 | なおす | 直 | に | 1 |
| でん | 殿 | とう | 鬪 | とよ | 豊 | なおる | 治 | に | 児 |
| でん | 田 | とう | 嶌 | とら | 虎 | なか | 中 | に | |
| と | | とうとい | 貴 | とら | 寅 | なか | 仲 | に | 尼 |
| L | と | とうとい | 尊 | とり | 鳥 | なかば | 半 | に | 丹 |
| と | \mathbb{P} | とうげ | 峠 | とり | 酉 | ながい | 永 | にい | 新 |
| と | \mathbb{X} | とお | + | とる | 取 | ながい | 長 | におう | 匂 |
| と | 斗 | とおい | 遠 | とん | 山 | ながれる | 流 | にし | 西 |
| と | 杜 | とおる | 亨 | とん | 惇 | なぎ | 凪 | にしき | 錦 |
| と | 渡 | とおる | 徹 | とん | 敦 | なぎ | 薙 | にじ | 虹 |
| と | 都 | とき | 時 | ど | | なぎさ | 渚 | にち | 日 |
| L | 戸 | とき | 鴇 | と | ど | なく | 鳴 | にな | 蜷 |
| とい | 樋 | とく | 得 | と | ド | なごむ | 和 | にゅう | 入 |
| といし | 砥 | とく | 徳 | 2 | 努 | なし | 梨 | にら | 韮 |
| 48 | | | | | | | | | |

| 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 |
|-----|----|------|--------------|--------|----|------|----|------|----|
| にわ | 庭 | のぼる | 登 | はざま | 硲 | はやい | 早 | ばん | 盤 |
| にん | 忍 | のり | 紀 | はし | 橋 | はやい | 速 | ぱ | |
| ぬ | | のり | 規 | はし | 端 | はやし | 林 | ぱ | ぱ |
| な | な | のり | 憲 | はしご | 梯 | はやぶさ | 隼 | ぱ | パ |
| な | ヌ | のり | 典 | はしら | 柱 | はやる | 逸 | ひ | |
| ぬし | 主 | のり | 範 | はじめ | 初 | はら | 原 | ひ | ひ |
| ぬの | 布 | のり | 法 | はじめ | 肇 | はり | 榛 | ひ | ヒ |
| ぬま | 沼 | のる | 乗 | はじめ | 甫 | はり | 針 | ひ | 斐 |
| ね | | は | | はじめ | 孟 | はり | 梁 | U | 比 |
| ね | ね | は | は | はす | 蓮 | はる | 春 | U | 肥 |
| ね | ネ | は | ハ | はずす | 外 | はる | 張 | U | 飛 |
| ね | 袮 | は | 巴 | はぜ | 枦 | はるか | 遥 | U | 火 |
| ね | 音 | は | 覇 | はた | 旗 | はるか | 遼 | U | 日 |
| ね | 根 | は | 播 | はた | 秦 | はれる | 晴 | U | 樋 |
| ねい | 寧 | は | 波 | はた | 幡 | はん | 坂 | U | 氷 |
| ねつ | 熱 | は | 破 | はた | 畠 | はん | 阪 | U | 陽 |
| ねん | 年 | は | 葉 | はた | 籏 | はん | 幡 | ひいでる | 秀 |
| ねん | 念 | はい | 配 | はたけ | 畑 | はん | 伴 | ひいらぎ | 柊 |
| の | | はい | 稗 | はたす | 果 | はん | 半 | ひえ | 稗 |
| の | の | はいる | 入 | はたらく | 働 | はん | 反 | ひがし | 東 |
| の | ノ | はえる | 栄 | はち | 八 | はん | 帆 | ひかり | 光 |
| の | 埜 | はえる | 生 | はち | 鉢 | はん | 板 | ひき | 疋 |
| の | 乃 | はかま | 袴 | はち | 蜂 | はん | 班 | ひく | 引 |
| の | え | はかる | 諮 | はつ | 発 | はん | 畔 | ひく | 曳 |
| の | 野 | はかる | \mathbb{X} | はつ | 初 | はん | 繁 | ひこ | 彦 |
| のう | 納 | はぎ | 萩 | はと | 鳩 | はん | 範 | ひさしい | 久 |
| のう | 濃 | はく | 伯 | はな | 花 | はん | 飯 | ひし | 菱 |
| のう | 能 | はく | 博 | はな | 華 | ば | | ひしくい | 鴻 |
| のう | 農 | はく | 柏 | はな | 鼻 | ば | ば | ひじり | 聖 |
| のぞむ | 望 | はく | 白 | はなはだしい | 甚 | ば | バ | ひたい | 額 |
| のち | 後 | は< | 粕 | はなわ | 塙 | ば | 馬 | ひだり | 左 |
| のびる | 延 | は< | 薄 | はね | 羽 | ば | 場 | ひつじ | 未 |
| のびる | 伸 | は< | 迫 | はは | 母 | ばい | 倍 | ひと | 人 |
| のびる | 暢 | はげしい | 烈 | はば | 幅 | ばい | 梅 | ひとしい | 等 |
| のぼる | 昇 | はこ | 箱 | はま | 浜 | ばく | 麦 | ひとつ | |
| のぼる | 上 | はこぶ | 運 | はま | 濱 | ばん | 番 | ひとみ | 瞳 |

| 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 |
|----------------------|----|------------------------------------|----|----------------|--------|-----------|--------|------|----|
| ひな | 雛 | びょう | 苖 | ふける | 老 | $ \land$ | \sim | ほ | 帆 |
| ひのき | 桧 | びん | 敏 | ふさ | 房 | へい | 兵 | ほ | 穂 |
| ひのき | 檜 | びん | 瓶 | ふし | 節 | へい | 平 | ほう | 逢 |
| ひびく | 響 | ぴ | | ふじ | 藤 | へい | 並 | ほう | 宝 |
| ひめ | 姫 | ぴ | ぴ | ふす | 伏 | へい | 柄 | ほう | 峰 |
| ひめ | 媛 | $\mathcal{O}^{\!\!\!\!\!\!\!\!\!}$ | ピ | ふせぐ | 防 | へき | 壁 | ほう | 峯 |
| ひゃく | 百 | / | | ふだ | 札 | へき | 碧 | ほう | 朋 |
| ひょう | 俵 | ふ | ふ | ふたつ | | へる | 経 | ほう | 方 |
| ひょう | 氷 | ふ | フ | ふたつ | 両 | へん | 片 | ほう | 法 |
| ひょう | 表 | ふ | 釜 | ふち | 淵 | へん | 辺 | ほう | 芳 |
| ひら | 平 | ふ | 不 | ふち | 渕 | へん | 邊 | ほう | 萌 |
| ひらく | 開 | л, | 付 | ふとい | 太 | へん | 邉 | ほう | 蜂 |
| ひらく | 拓 | Ň | 夫 | ふね | 舟 | ベ | | ほう | 蓬 |
| ひる | 干 | Ň | 富 | ふね | 船 | \sim | く | ほう | 訪 |
| ひる | 昼 | Ň | 冨 | ふみ | 史 | \sim | く | ほう | 邦 |
| ひる | 蛭 | Ň | 布 | ふみ | 文 | ~ | 部 | ほう | 豊 |
| ひろい | 寛 | Ň | 府 | ふもと | 麓 | ~ | 邊 | ほう | 鳯 |
| ひろい | 宏 | Ň | 敷 | ふゆ | 冬 | ~ | 邉 | ほお | 朴 |
| ひろい | 広 | Ň | 浮 | ふる | 降 | ~ | 辺 | ほか | 外 |
| ひろい | 弘 | Ň | 畨 | ふるい | 古 | べい | 米 | ほがらか | 朗 |
| ひろい | 浩 | Ň | 父 | ふん | 分 | べつ | 別 | ほく | 北 |
| ひろい | 博 | Ň | 附 | ぶ | | べに | 紅 | ほし | 星 |
| ひろい | 廣 | Ň | 歩 | ぶ | ぶ | べん | 勉 | ほす | 干 |
| ひん | | ふう | 風 | ぶ | ブ | ペ | | ほそい | 細 |
| ひん | 彬 | ふえ | 笛 | ぶ | ヴ | \sim | \sim | ほたる | 蛍 |
| ひん | 浜 | ふえる | 増 | ぶ | 武 | \sim | ペ | ほどこす | 施 |
| ひん | 濱 | ふかい | 深 | ぶ | 舞 | ほ | | ほまれ | 誉 |
| び | | ふき | 蕗 | ぶ | 部 | ほ | ほ | ほら | 洞 |
| $\Omega_{\tilde{r}}$ | び | ふく | 伏 | ぶ | 蕪 | ほ | ホ | ほり | 堀 |
| $\Omega_{\tilde{r}}$ | ビ | ふく | 副 | ぶつ | 物 | ほ | 浦 | ほん | 本 |
| U, | 梶 | ふく | 服 | ぶん | 文 | ほ | 蒲 | ぼ | |
| С [»] | 尾 | ふく | 幅 | ぷ | | ほ | 保 | ぼ | ぼ |
| С ^к | 備 | ふく | 福 | л [°] | ぶ | ほ | 歩 | ぼ | ボ |
| Сř | 美 | ふく | 吹 | З, | プ | ほ | 甫 | ぼ | 母 |
| Сř | 眉 | ふくろ | 袋 | | | ほ | 輔 | ぼ | 暮 |
| Сř | 鼻 | ふける | 更 | \land | \sim | ほ | 火 | ぼう | 虻 |
| 50 | | I | | I | | I | | I | |

| 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 |
|-----|-----------|-------|----|-------|----------|-------|----|-------|----|
| ぼう | 傍 | まさ | 正 | み | 1 | みやこ | 都 | めずらしし | 珍 |
| ぼう | 坊 | まさ | 柾 | み | 未 | みょう | 妙 | めん | 綿 |
| ぼう | 房 | まさに | 将 | み | 味 | みる | 見 | も | |
| ぼう | 望 | まさる | 勝 | み | 弥 | みる | 覧 | も | も |
| ぼう | 防 | まじわる | 交 | み | 実 | む | | も | モ |
| ぼく | arepsilon | ます | 升 | み | 巳 | む | む | も | 茂 |
| ぼく | 朴 | ます | 舛 | み | 箕 | む | 4 | もう | 子 |
| ぼく | 牧 | ます | 増 | みがく | 磨 | む | 武 | もう | 毛 |
| ぼく | 睦 | ます | 桝 | みき | 幹 | む | 務 | もう | 猛 |
| ぽ | | ますます | 益 | みぎ | 右 | む | 夢 | もう | 網 |
| ぽ | ぽ | また | 股 | みことのり | ,勅 | む | 牟 | もうける | 設 |
| ぽ | ポ | また | 亦 | みさき | 岬 | むぎ | 麦 | もえる | 萌 |
| ま | | また | 又 | みず | 水 | むく | 向 | もく | 木 |
| ま | ま | また | 俣 | みず | 瑞 | むく | 椋 | もく | 目 |
| ま | マ | まち | 町 | みずうみ | 湖 | むずかしい | 難 | もしくは | 若 |
| ま | 摩 | まつ | 末 | みずのえ | Ŧ | むすぶ | 結 | もちいる | 庸 |
| ま | 磨 | まつ | 松 | みぞ | 渠 | むっつ | 六 | もつ | 持 |
| ま | 麻 | まつり | 祭 | みぞ | 溝 | むつまじい | 睦 | もっとも | 最 |
| ま | 間 | まつりごと | :政 | みち | 道 | むね | 宗 | もと | 下 |
| ま | 真 | まったく | 全 | みち | 路 | むね | 棟 | もと | 基 |
| ま | 目 | まと | 的 | みちる | 満 | むら | 村 | もと | 元 |
| まい | 米 | まなぶ | 学 | みっつ | <u> </u> | むら | 邑 | もと | 素 |
| まい | 妹 | まめ | 豆 | みどり | 翠 | むらさき | 紫 | もと | 本 |
| まい | 毎 | まもる | 護 | みどり | 碧 | むろ | 室 | もの | 者 |
| まい | 舞 | まもる | 守 | みどり | 緑 | め | | もの | 物 |
| まえ | 前 | まゆ | 眉 | みな | 皆 | め | め | もみ | 籾 |
| まき | 巻 | まゆずみ | 黛 | みなと | 港 | め | × | もみじ | 椛 |
| まき | 牧 | まり | 鞠 | みなと | 湊 | め | 芽 | もも | 桃 |
| まき | 槙 | まる | 丸 | みなみ | 南 | め | 女 | もも | 百 |
| まく | 蒔 | まるい | 円 | みなもと | 源 | め | 目 | もり | 守 |
| まく | 播 | まろ | 麿 | みね | 峰 | めい | 名 | もり | 森 |
| まご | 孫 | まわり | 周 | みね | 峯 | めい | 明 | もり | 杜 |
| まこと | 信 | まん | 万 | みね | 嶺 | めい | 銘 | もる | 盛 |
| まこと | 誠 | まん | 満 | みの | 蓑 | めい | 鳴 | もろもろ | 諸 |
| まさ | 雅 | み | | みのる | 稔 | めぐむ | 恵 | もん | 門 |
| まさ | 昌 | み | み | みや | 宮 | めし | 飯 | | |

| 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 | 読み | 文字 |
|------------|----|-------|----|-----|----|-------|----|-----|----|
| や | | やり | 鑓 | ゆび | 指 | よし | 佳 | 9 | 利 |
| や | や | やわらかし | 小柔 | ゆみ | 弓 | よし | 義 | IJ | 吏 |
| や | ヤ | やわらぐ | 和 | ゆめ | 夢 | よし | 吉 | IJ | 李 |
| や | 也 | や | | ゆれる | 揺 | よし | 由 | IJ | 梨 |
| や | 冶 | や | Þ | | | よっつ | 匹 | IJ | 理 |
| や | 野 | や | ヤ | φ | Ø | よど | 淀 | IJ | 里 |
| や | 耶 | ゆ | | ø | ユ | よね | 米 | りく | 陸 |
| や | 椰 | Þ | Ø | よ | | よみがえる | る蘇 | りつ | 律 |
| や | 屋 | Þ | ユ | よ | よ | よもぎ | 蓬 | りつ | 立 |
| や | 家 | Þ | 油 | よ | Э | よる | 依 | りゅう | 笠 |
| や | 哉 | Þ | 諭 | よ | 予 | よる | 寄 | りゅう | 柳 |
| や | 箭 | Þ | 由 | よ | 余 | よろこぶ | 喜 | りゅう | 流 |
| や | 谷 | Þ | 湯 | よ | 与 | よろこぶ | 欣 | りゅう | 琉 |
| や | 弥 | ゆい | 唯 | よ | 誉 | よろこぶ | 慶 | りゅう | 留 |
| や | 矢 | ゆう | 右 | よ | 輿 | よろしい | 宜 | りゅう | 隆 |
| やかた | 舘 | ゆう | 佑 | よ | 世 | よろず | 万 | りゅう | 竜 |
| や < | 益 | ゆう | 勇 | よ | 代 | ដ | | りゅう | 龍 |
| せく | 役 | ゆう | 優 | よい | 嘉 | よ | よ | りょ | 呂 |
| せく | 薬 | ゆう | 友 | よい | 善 | よ | Э | りょう | 菱 |
| やさしい | 優 | ゆう | 悠 | よい | 良 | 6 | | りょう | 椋 |
| やし | 椰 | ゆう | 有 | よう | 腰 | 5 | 5 | りょう | 亮 |
| やしろ | 社 | ゆう | 柚 | よう | 鷹 | 5 | ラ | りょう | 了 |
| やす | 靖 | ゆう | 湧 | よう | 涌 | 5 | 羅 | りょう | 両 |
| やすい | 安 | ゆう | 祐 | よう | 幼 | らい | 来 | りょう | 僚 |
| やすい | 康 | ゆう | 裕 | よう | 容 | らい | 頼 | りょう | 梁 |
| やすい | 泰 | ゆう | 遊 | よう | 庸 | らい | 礼 | りょう | 涼 |
| やっつ | 八 | ゆう | 邑 | よう | 揺 | 5< | 楽 | りょう | 良 |
| やど | 宿 | ゆう | 雄 | よう | 楊 | 5< | 落 | りょう | 諒 |
| やな | 簗 | ゆう | 結 | よう | 洋 | らん | 嵐 | りょう | 遼 |
| やなぎ | 柳 | ゆう | 夕 | よう | 葉 | らん | 藍 | りょう | 領 |
| やなぎ | 楊 | ゆか | 床 | よう | 要 | らん | 蘭 | りょう | 蓼 |
| やぶ | 薮 | ゆき | 雪 | よう | 遥 | らん | 覧 | りょく | 力 |
| やぶ | 藪 | ゆく | 行 | よう | 陽 | 6/ | | りょく | 緑 |
| やぶる | 破 | ゆず | 柚 | よう | 八 | 9 | り | りん | 倫 |
| やま | 山 | ゆたか | 豊 | よく | 翼 | 9 | リ | りん | 林 |
| やり | 鎗 | ゆたか | 裕 | よこ | 横 | 9 | 鯉 | りん | 輪 |
| 52 | | | | | | | | | |

| 読み | 文字 | 読み | 文字 | 追加模様、ソフトウェアの |
|----|------------|------|----|--|
| る | | ろく | 麓 | 一一一个 |
| 3 | る | ろく | 禄 | こ 未 内 ―――― |
| 3 | ル | わ | | この刺しゅう機では、内臓の柄以外にも弊社ホーム |
| るい | 類 | わ | わ | ページからパソコンを使って USB メモリにダウン |
| n | | わ | ワ | ロードした柄をぬうことができます。 |
| れ | れ | わ | 窪 | また、工業用として流通している刺しゅうデータを、 |
| れ | ${\cal V}$ | わ | 和 | この刺しゆつ機 ()ぬえるよつに編集するソフトワエ ア(abou abou STUDIO) t ご田音! ています |
| れい | 嶺 | わ | 倭 | |
| れい | 怜 | わ | 輪 | 詳しくは、販売店に問い合わせるか、下記の弊社ホー |
| れい | 玲 | わい | 隈 | ムページをご覧ください。 |
| れい | 礼 | わかい | 若 | http://aingar.hoppying.com/abouahou |
| れい | 鈴 | わかれる | 別 | |
| れい | 麗 | わき | 脇 | ダウンロードには、インターネットに接続でき、 |
| れつ | 烈 | わく | 湧 | USBメモリに保存できる環境のパソコンが必要です。 |
| れん | 鎌 | わく | 涌 | ンフトリエアの動作境現は、上記ホームハーンをこ |
| れん | 廉 | わける | 分 | 見へんてい。 ダウンロードに通信料がかかろ場合は お客様ご角 |
| れん | 連 | わし | 鷲 | 相になります。ごて承ください。 |
| れん | 蓮 | わた | 綿 | |
| ろ | | わたる | 渉 | タリンロートしたナータの読み込みは、59 ペーシを 参照ください |
| ろ | ろ | わたる | 渡 | |
| ろ | П | わたる | 亘 | 模様やソノトウェアのタウンロードには、刺しゅつ |
| ろ | 芦 | わびる | 詫 | 機の広部に記載された機械金支が必要です。 |
| ろ | 蕗 | わら | 藁 | |
| ろ | 呂 | わらう | 笑 | |
| ろ | 路 | わらべ | 童 | |
| ろ | 露 | わる | 割 | |
| ろ | 枦 | われ | 我 | |
| ろう | 瀧 | われ | 吾 | |
| ろう | 朗 | を | | |
| ろう | 浪 | を | を | |
| ろう | 篭 | を | ヲ | |
| ろう | 老 | h | | |
| ろう | 郎 | h | h | |
| ろう | 籠 | h | ン | |
| ろく | 鹿 | | | |
| ろく | 六 | | | 機械番号 |
| | | I | | l l l l l l l l l l l l l l l l l l l |

刺しゅうのぬい方

● 設定が終わったら(ぬい始める前に)

- 1. 柄を複数入力した場合は、設定画面の柄 切替ボタンでぬいたい柄を選びます。 選ばれた柄が四角い線で囲まれます。
- ○K」ボタンをタッチします。
 ⇒刺しゅう機は、最初の糸の色と、その糸でのぬいイメージを表示します。
 (準備画面)
 このとき刺しゅう枠が開始位置に動きますので、ご注意ください。
 文字ぬいの場合、糸色をイロ1と表示します。ぬいたい色の糸を準備してください。
- 上糸にその糸をかけます。(上糸は、ミシンの使用の手びきにしたがって正しくかけてください。)

∕! 注意:ケガ防止のために

上糸を糸かけにかけるときや、糸通しを使 うときは、針先に十分注意してください。

- 4. 上糸を刺しゅう押えの穴に上から通します。
- 5. 押えを下げ、上糸を後ろの糸かけに下か らかけます。
- 6. 糸をかけ終えたら、画面の「はい」をタッ チします。

⇒最初の色のぬい画面に変わります。

- マンのスタートボタンを押します。
 ⇒刺しゅうの最初の色をぬい始めます。
- 数針ぬったらミシンを止め、押えを上げ て、ぬい始めの余分な糸を切り取ります。
- 9. 切った糸を取り除いてから、押えを下げ、 再びスタートします。
- ミシンが糸切り装置つきの場合
 ⇒ぬい終わるとミシンは、自動的に糸を
 切って止まり、次にぬう糸の準備画面がでます。
- ミシンが糸切り装置なしの場合 ⇒ぬい終わるとミシンは、自動的に停止



し、次にぬう糸の準備画面がでます。 10. 押えを上げ、上糸を次の色に交換して、 「はい」をタッチします。 ⇒次にぬう糸の画面に変わります。 11. 押えを下げ、最初の色と同様にぬいをス タートさせます。 12. 全ての色をぬい終わるまでくり返します。 ⇒刺しゅうが終わると「画面に刺しゅう が終了しました」とメッセージが出ます。 13. 押えを上げ「×」をタッチします。 ⇒メッセージが消えます。 14. 次にぬう柄があるときは、「 🗂」 にタッ チします。 ⇒「縫いを中止し、設定画面に戻っても いいですか | とメッセージが現れます。 15. [はい] をタッチします。 ⇒設定画面が表示されます。 16. 切替ボタンで次にぬいたい柄に切り替え て、同じ手順でぬいます。 17. すべての刺しゅうが終わったら、押えを 上げ、刺しゅう枠を取り外します。 18. 余分な糸(渡り糸)を切り取って什上げ ます。 (18)



● ぬい画面に表示される情報

ぬい画面は、切り替えボタンで3つの画 面に切り替わります。

1 色替え画面

a. 刺繍枠のサイズと刺しゅうする柄 b. 模様をぬっているときは、その色と次の色 文字をぬっているときはその文字と続き の文字 ぬっている文字がぬい終わると 表示からも消えます。

c. 色替えボタン

このボタンをタッチすると、色をぬわず に進めたり、戻したりすることができま す。

⇒確認のメッセージが表示されます。 最初の色の途中で「◆」をタッチした場合は、ぬい 始めに戻ります。

2 ぬい目情報画面

d. この柄の合計針数(ぬい目の数)
e. ぬい残りをパーセントで表示
f. 現在の色の順番/全色数
g. 糸替え停止位置移動ボタン
刺しゅう枠が糸替え停止位置に移動します。糸切れした時に使用します。60 ページ参照
h. ぬい目戻りボタン
ぬい目をぬわずに戻ります。

i. ぬい目送りボタン

ぬい目をぬわずに進みます。

3 色情報画面

j. 選択している色のぬいイメージ
 k. 選択している色の針数
 l. 選択している色の順番/全色数
 m. 選択している色名
 n. 左右の矢印ボタンをタッチすると、選択している前後の色の情報に変わります。

注意

この画面でぬいをスタートさせても選択 している色からぬうのではなく、停止し ている続きをぬいます。画面はその色の 情報画面に切り替わります。



お知らせ:

文字の設定で色の変更有にしている場合、文 字ごとに色が異なると認識されます。

文字をつないでぬう

文字数が多くて1回ではぬいきれないとき は、何回かに分けて、つないでぬうことがで きます。

- 1. まず、始めの何文字かを選びぬいます。
- 2. 刺しゅう枠を取り外します。
- ぬい終わりの部分が次のぬい始めになる ように布を張り替えます。
 このとき、ぬい方向が曲がらないように注意してくだ さい。
- 4. 刺しゅう枠をキャリッジに取り付けます。
- 5. 前の文字を削除して、続きの文字を選び ます。
- 6.「OK」をタッチして、設定画面にします。
- 「編集」、「移動・反転」をタッチします。
 ⇒移動・反転画面になります。
- 8.「[X]」(ぬい始めボタン)をタッチします。
- 9.「キャリッジが動きます。よろしいですか?」というメッセージがでますので、安全を確認して「はい」をタッチします。
 ⇒針がぬい始めの位置にくるように刺しゅう枠が移動します。
 よこ書き文字の場合は、左下になります。
 ボタンが「シ」」に変わります。
 たて書き文字の場合は、中上になります。
 ボタンが「シ」」に変わります。
- 10. 移動ボタンを使って、針が最初のぬい終わりの位置にくるように調整します。 このとき、針や押えは下げないでください。
- 11.「OK」をタッチします。
- 12.「キャリッジが動きます。よろしいで すか?」というメッセージがでますので、 安全を確認して「はい」をタッチします。
 ⇒針がぬい範囲の中心に戻ります。
- 13.「OK」を2回タッチします。⇒上糸準備画面になります。
- 14. 上糸をかけ、「はい」をタッチします。
- 15.ぬいをスタートします。



USB メモリに刺しゅうデータを保存する

模様や文字の組み合わせと設定内容を一つの刺しゅうデータとして USB メモリに保存す ることができます。データは「LAY_XXX.hlo」(XXX は 3 桁の数字)というファイル名で USB メモリに保存されます。



USB メモリ以外の USB 機器は接続しないでください。誤動作や、刺しゅう機、ミシン本体の故障をまねく恐れがあります。

USB メモリは本機に付属のものをお使いください。市販の USB メモリは、使えない場合 があります。

刺しゅう機の操作や刺しゅうをしている間は、USBメモリを抜かないでください。 データがこわれたり、刺しゅうができなくなります。

1. USBメモリをUSB接続口に差し込みます。 (1)2. 設定画面で「柄保存・柄消去」をタッチ します。 ⇒2つのボタンが表示されます。 3. [USB 保存] をタッチします。 ⇒保存画面が開き、自動的に番号がつけ 13×20cm 2) られます。 柄塡 4. 番号を変えたい場合は3桁まで番号を指 22 定できます。(入力するごとに下の桁から 繰り上がっていきます。) ・拡 「C」ボタンをタッチすると仮の番号に戻 ります。「●」をタッチすると設定画面 3) 13×20cm に戻ります。 USB メモリに同じ番号のデータがある場 22 合は上書きされます。 5. [] または [OK] をタッチします。 ⇒保存処理画面が開き、保存が完了する と、設定画面に戻ります。

保存したデータを読み込むには、次ページを ご覧ください。



USBメモリから刺しゅうデータを読み込む

前ページで USB メモリに保存されたデータ「.hlo」や当社ホームページからダウンロード したデータ「.epl」、工業用刺しゅうデータ「.dst」を、刺しゅう機に読み込んでぬうこと ができます。(53 ページ参照) お知らせ:

一部の「.dst」のデータは、きれいにぬえないことや、糸絡みを引き起こすことがあります。 その場合、別売りの刺しゅうソフトウェアで刺しゅうデータを編集し直してください。 (53ページ参照)



ないでください。(「■」マークが表示されています)

こんなときには、

●小さい布や布端にぬうには

接着芯(不織布タイプ)に貼ってぬいます。 ぬい終わってから余分な芯を取り除きます。 A 小さい布 B 布端 C 帯状のもの(リボン、テープなど)

● ぬいの途中で糸が切れたり、なくなったら
 A. 上糸が切れたり、なくなったら、

上糸センサー(安全装置)が反応し、エラーを 表示して自動的に停止します。

1. 針と押えを上げ、上糸をかけ直して「OK」 をタッチします。

⇒エラー表示が消えます。

- 2. 切り替えボタンで、ぬい目情報画面にします。
- 3. 「-」をタッチして、止まったところの少 し手前まで戻します。 タッチし続けると、連続して戻ります。
- 4. 押えを下げ、再スタートします。

糸かけしづらいときは、

- i. 項目1のエラー表示のときにいったん 「OK」をタッチしてエラー解除します。
- ii. 切り替えボタンでぬい目情報画面にします。
- iii. 糸替え停止位置移動ボタンをタッチします。
 ⇒刺しゅう枠が移動し、メッセージが表示 されます。
- iv. 上糸をかけ直します。
- V.「はい」をタッチします。
 ⇒刺しゅう枠が開始位置に移動します。
 Vi.項目3に戻ります。

B. 下糸が切れたり、なくなったら、

- スタート・ストップボタンでミシンを止めます。 (上糸センサーが働いて止まることもあります。)
- 2. 針と押えを上げます。
- 3. 上糸を切って刺しゅう枠を取り外します。
- 下糸(ボビン)を入れ直します。
 (ミシンの使用の手びきを参照してください。)
- 5. 刺しゅう枠を取り付けます。

6. 前項「糸かけしづらいときは」と同じ手順

で、上糸をかけ直して再スタートします。 60



● 停電で止まったら (バックアップ機能)

停電などでぬいの途中で電源が切れてしまっても、その柄の設定を再度呼び出すことができます。

刺しゅう枠が動きますので、上糸をいったん切ってから進めてください。

- 1. 電源スイッチを入れ直します。
- タイトル画面が現れたら、左下のバック アップボタンをタッチします。
 ⇒電源が切れたときの糸色のぬい情報画 面になります。
 最初の糸色のときは準備画面が表示されます。「はい」 をタッチします。
- 3. [+] をタッチして、止まったところの少 し手前まで進めます。
- 4. 糸替え停止位置移動ボタンをタッチします。
 ⇒メッセージが表示されます。
- 5. 上糸をかけ直します。
- 6.「はい」をタッチします。⇒刺しゅう枠が移動します。
- 7. 押えを下げ、スタートします。

お知らせ:

- ●ぬいを完了したり、途中で「♪」ボタンをタッチしてぬいをやめた場合、バックアップボタンは現れません。
- バックアップ機能は選択した内臓柄にの み有効です。選択していない柄や USB メ モリから読み込んだデータはバックアッ プされません。
- バックアップボタンをタッチせずに別の 柄を選ぶと、バックアップデータは、削 除されます。



糸調子について

ご使用の糸や布地によって、糸調子は変わってきます。また、糸調子を弱くしすぎると、糸 が絡んでぬえなくなる場合があります。

同じ布に試しぬいをして、糸調子を調節して ください。

<u>A 正しい糸調子</u>

布地の裏に上糸が少し出てきます。

B 上糸調子が強すぎるとき

布地の表側に下糸が出てしまうときは、上糸 調子を弱くします。

<u>C 上糸調子が弱すぎるとき</u>

上糸がたるんだり、輪ができてしまうときは、 上糸調子を強くします。



お知らせ:

上糸が弱すぎると、糸が絡みやすくなります。

上糸のかけ方や、下糸のセットの仕方が間違っていると、正しい糸調子になりません。ミシンの使用の手びきをご覧になり、正しくかけてください。

刺しゅう機の仕様」

| 寸法 | 収納時 幅:393 mm ×高さ:126 mm × 奥行き:471 mm |
|------|--------------------------------------|
| 重さ | 約 4.2 kg |
| ぬい速度 | 最大 750 針/分(自動調節) |
| ぬい範囲 | 最大 13 cm × 20 cm |
| 内蔵模様 | ワンポイント 100 種類 (25 ~ 27 ページ) |
| | セレクション 10 種類 (28 ページ) |
| | キルト 30 種類 (28 ~ 29 ページ) |
| | ヨーロピアン 158 種類(30 ~ 37 ページ) |
| 内蔵文字 | ひらがな、カタカナ、記号:1 書体 (38 ページ) |
| | アルファベット/数字:4 書体 (38 ページ) |
| | 漢字 1212 文字 (39~53ページ) |

お問い合わせまたはご相談先(純正部品の購入方法)

シンガーミシン、刺しゅう機についてのお問い合わせ、ご相談はご購入店のほか、下記の弊 社「シンガーミシンお客様相談係」でも承っておりますのでご遠慮なくお申し越しください。

株式会社ハッピージャパン

「シンガーミシンお客様相談係」

〒110-0016 東京都台東区台東2丁目9番5号 TEL. 03-3837-1862 FAX. 03-3837-0072

* 住所および電話番号は都合により変更することがありますのでご了承ください。

^{*} シンガー純正部品の購入についてのお問い合わせは、ご購入店のほか、上記の弊社「シンガーミシンお客様相談係」 におたずねください。

修理サービス要領 ___

●修理サービスのご相談

- 1 この刺しゅう機のご購入者には、ご購入店から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。内容 をお確かめの上、大切に保存してください。
- 2 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談く ださい。

修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、製造打ち切り後、通常8 年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

●無料修理保証期間後の修理サービス

- 1 使用の手びきに基づいて正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修 理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします。 ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
 - イ 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - ロ 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - ハ ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - 二 ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解または 改造したために不調、故障または損傷したとき。
 - ホ 職業用として無理なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 2 長期間にわたってご使用された刺しゅう機の精度の劣化は修理によっても元どおりに修復できない ことがあります。
- 3 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額とな ります。
- 4 この刺しゅう機は持ち込み修理品ですので、修理の際はご購入店までお持ち込みくださるよう、お 願いいたします。

160年以上も家庭用ミシンを作り続けてきたシンガーは、迅速で正しいサービスをモットーとして全世界のご家庭に安心して使える製品をお届けいたしております。

●無料修理保証について

- 1. 無料修理保証期間(ご購入の日から1カ年間)内に故障した場合は、無料で故障箇所の修理調整または故障部品の交換をいたします。
- 2. 無料修理保証は表記刺しゅう機のみとします。
- 3. 無料修理保証をお受けいただくときは、この保証書を提示してください。
- 4. 無料修理保証をお受けいただくときは、刺しゅう機を購入店へご持参またはご相談ください。

●無料修理保証が受けられない場合

次のような場合には、保証期間内でも保証の対象とはなりません。

- 「使用の手びき」に記載してある使用方法または、保存方法と異なる方法によったため不調、故障または損傷したとき。
- 2. 浸水、冠水、火災等、天災地変により不調、故障または損傷したとき。
- 3. ご購入後の移動または輸送によって、不調、故障または損傷したとき。
- ご購入店、または当社で指定した販売店、サービス店以外で修理分解または改造したために不調、 故障または損傷したとき。
- 5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 6. 特別なご依頼により点検、精密検査または分解掃除等をしたとき。
- 7. この保証書のご提示がなかったとき。
- 8. この保証書に購入年月日、ご購入店名の記載または捺印がなかったとき。
- 9. この保証書の字句の訂正または書き換え等をしたとき。
- 10. この保証書は日本国内に限り有効といたします。

●有料修理について

- 1. 上記の 1. ~ 10. に該当する場合、その他有料で修理をするときの費用は、別に定める必要部品代、 出張費および技術料の合計額といたします。
- 2. 無料修理期間中にお客様のご依頼によって販売店が出張修理する場合は、別に定める出張費をいた だきます。

●お客様へのお願い

- 1. この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従っ てこの保証書によってお客様の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理に ついて、ご不明の場合はご購入店または、当社の「お客様相談係」等へお問い合わせください。
- 2.「使用の手びき」の「修理サービス要領」をよくお読みください。
- 3. この保証書は紛失されても再発行いたしませんので、大切に保存してください。



| | | | 保 | | | | E | 書 | |
|---------------|-----------------------|--------------------|---------------|-----|------------|-------------------------|--------------------|-----------------------|---|
| | | | 機械本体な 場合は、 | がお客 | 客様の 記載の | 正常な)内容 [*] | ≩使用状態で万 で無料修理を保 | ー故障した 融します。 | |
| 型 | Ī | ť | E | U- | 5 | | 機 械 番 号 | | |
| *お | 買上け | <u>*</u> 8 | | 年 | 月 | Β | 保証期間 | お買い上げ日より本体 1 左 | ŧ |
| * お | ご住 | 所 | <u></u> | | | TEL | | | |
| 客 様 | っ ^リ ご 芳 | ^{ガナ} 名 | | | | | | 様 | |
| * 販 | 住 | 所 | ⊤ | | | | | | |
| 売 店 | 店 | 名 | | | | | | TEL | |

* 印欄に記入のない場合無効となります。必ず記入の有無をご確認ください。 もし、記入がない場合には、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。 本書は、再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

株式会社 ハッピージャパン ミシン営業部

〒110-0016 東京都台東区台東2丁目9番5号 電話 03-3837-1865

(本社) 〒 990-2251 山形県山形市立谷川3 丁目 3515